
府中基地跡地新公園に関するアンケート調査結果

① アンケート結果サマリー

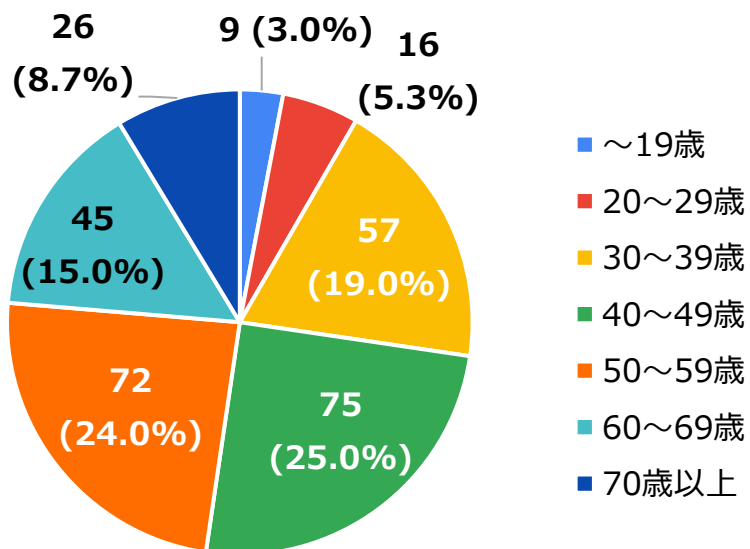
- 一般市民300件、小・中学生744件、保護者1,778件の計2,822件の回答を得ました。

■ 回答数（最終結果）

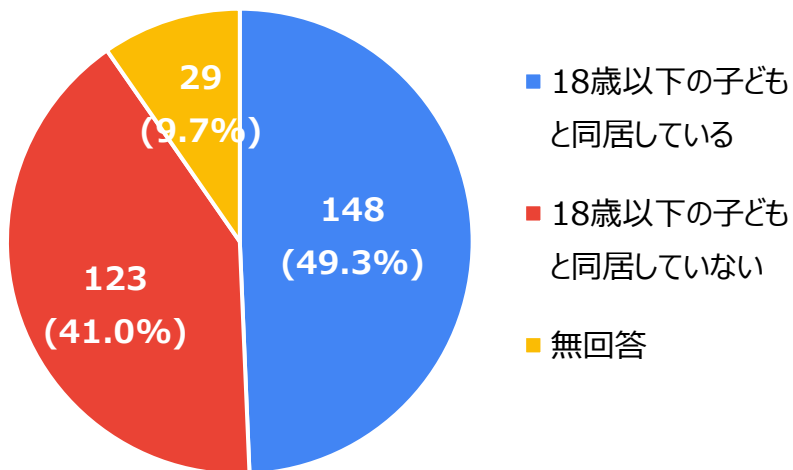
項目	一般市民	保護者	小・中学生
調査期間	令和8年7月15日 ～8月4日	令和8年7月28日 ～8月17日	令和8年7月28日 ～8月17日
回答数	300件	1,778件 (うち有効回答1,772件)	744件

② 調査結果の集計【一般市民】 | 回答者の属性

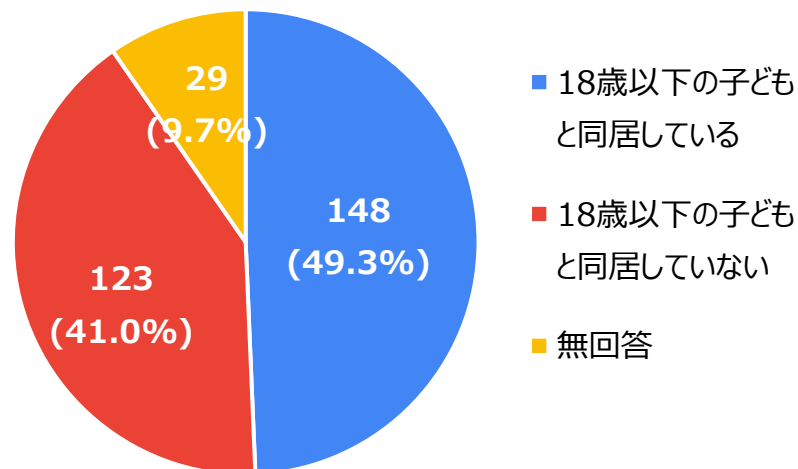
1-1. あなたの年齢を教えてください。



1-2. 18歳以下の子どもとの同居の有無について教えてください。



1-3. 同居をしている子どもの年齢について教えてください。



※1-2で18歳以下の子どもと同居している回答者に限定

② 調査結果の集計【一般市民】 | 回答者の属性【一般】

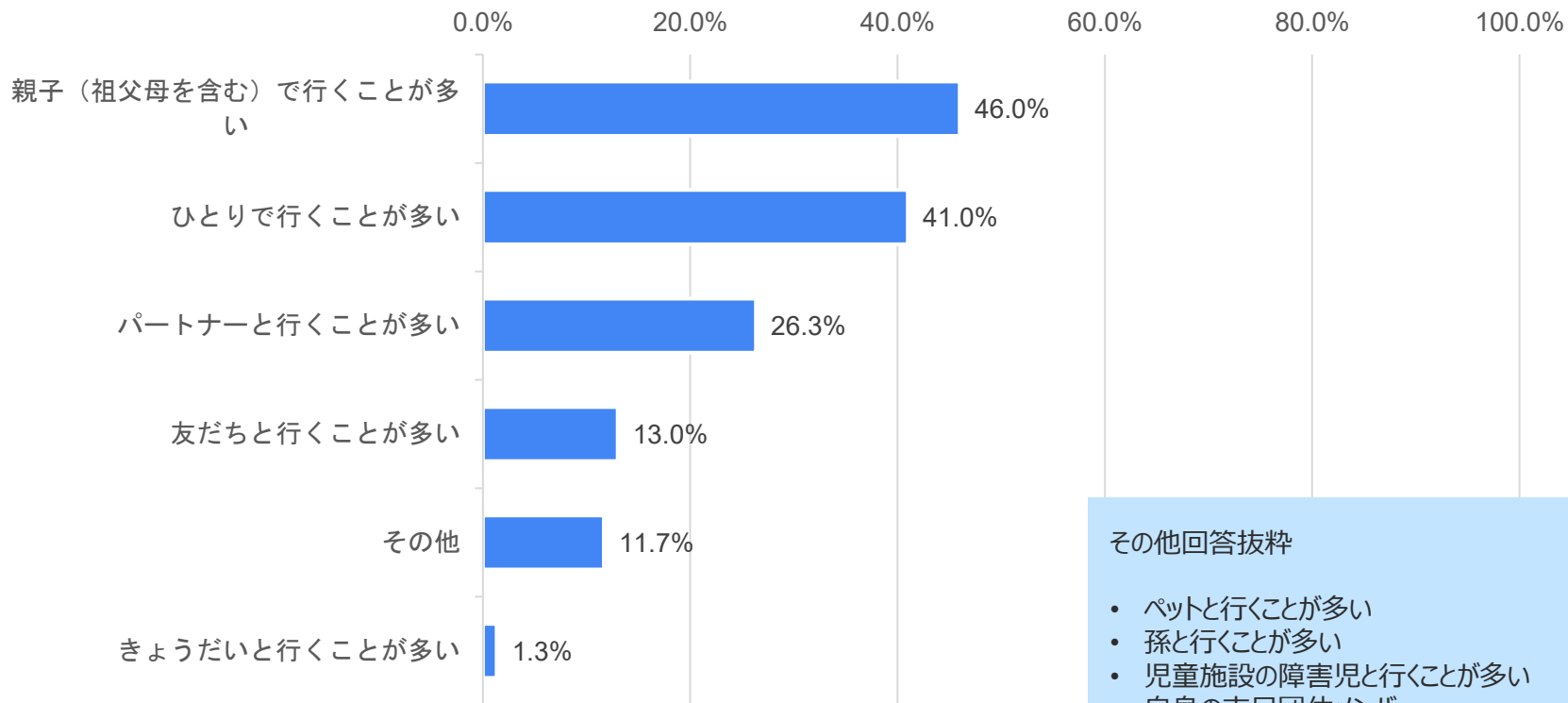
1-4. お住まいの地区を教えてください。

紅葉丘文化センター地区（多磨町、朝日町、紅葉丘、若松町 3～5 丁目）	27	9.0%
白糸台文化センター地区（白糸台、小柳町 1 丁目、若松町 1～2 丁目、清水が丘 3 丁目）	26	8.7%
押立文化センター地区（押立町）	6	2.0%
是政文化センター地区（小柳町 2～6 丁目、清水が丘 1～2 丁目、是政）	18	6.0%
住吉文化センター地区（南町、分梅町 2～5 丁目、住吉町）	19	6.3%
片町文化センター地区（矢崎町、本町、片町、宮西町、日鋼町、美好町、分梅町 1 丁目、寿町 3 丁目）	21	7.0%
中央文化センター地区（天神町 1～2 丁目、幸町 1～2 丁目、府中町、緑町、宮町、八幡町、寿町 1～2 丁目、晴見町 1～2 丁目、日吉町）	94	31.3%
新町文化センター地区（浅間町、天神町 3～4 丁目、新町、晴見町 3～4 丁目、栄町、幸町 3 丁目）	57	19.0%
武蔵台文化センター地区（武蔵台、北山町、西原町）	4	1.3%
西府文化センター地区（東芝町、日新町 1～4 丁目、本宿町、西府町）	10	3.3%
四谷文化センター地区（四谷、日新町 5 丁目）	8	2.7%
府中市外	9	3.0%
無回答	1	0.3%

※府中市外：国立市、立川市、小金井市、八王子市、足立区、川崎市、世田谷区、国分寺市

② 調査結果の集計【一般市民】 | Q2-1.公園に誰と行くか

- 「親子（祖父母を含む）で行く」46.0%が最多、次いで「ひとりで行く」41.0%、「パートナーと行く」26.3%となっており、家族または個人での利用が中心となっています。

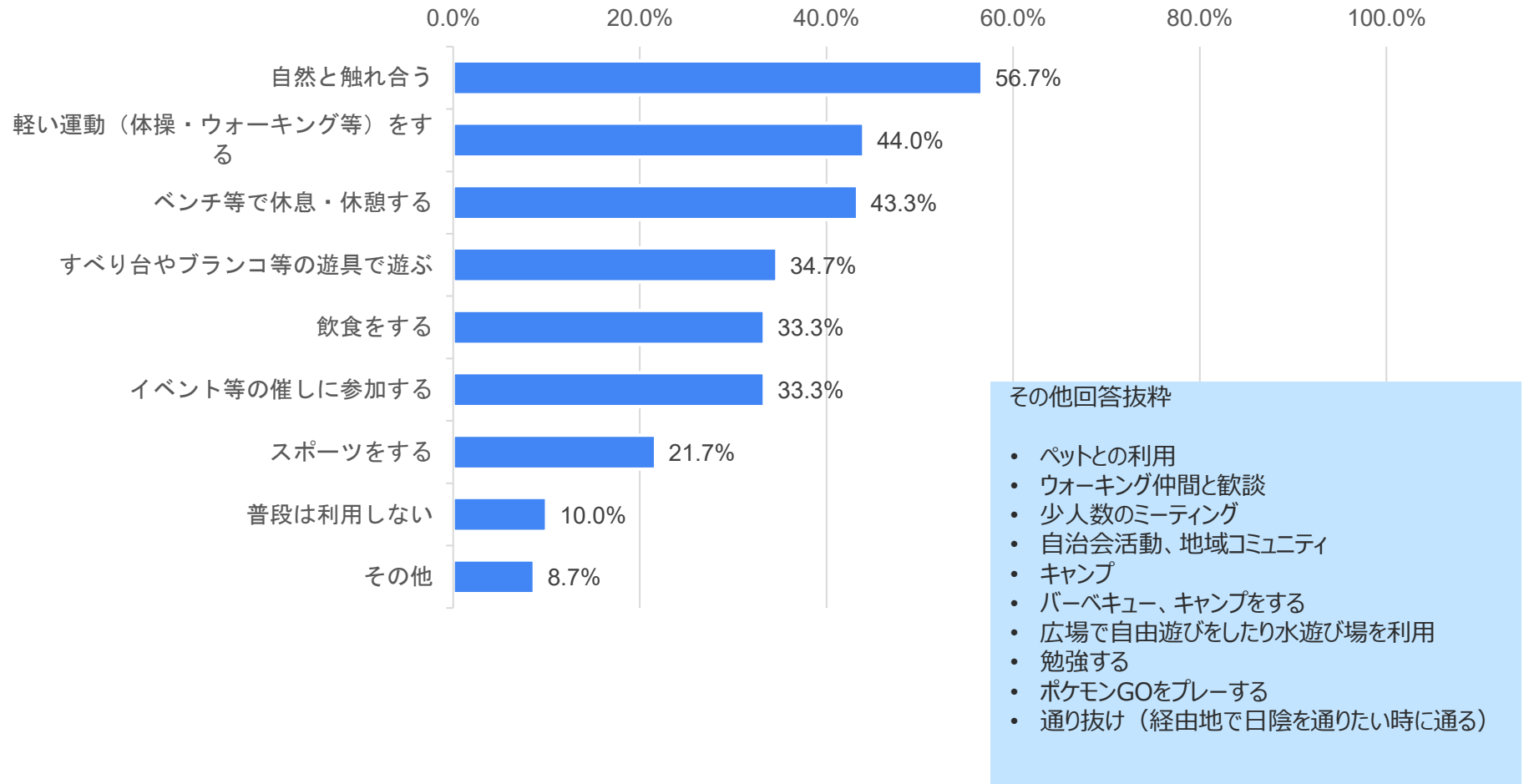


その他回答抜粋

- ・ ペットと行くことが多い
- ・ 孫と行くことが多い
- ・ 児童施設の障害児と行くことが多い
- ・ 自身の市民団体メンバー
- ・ 小学生のスポーツチームメンバー
- ・ その他サークルで行く

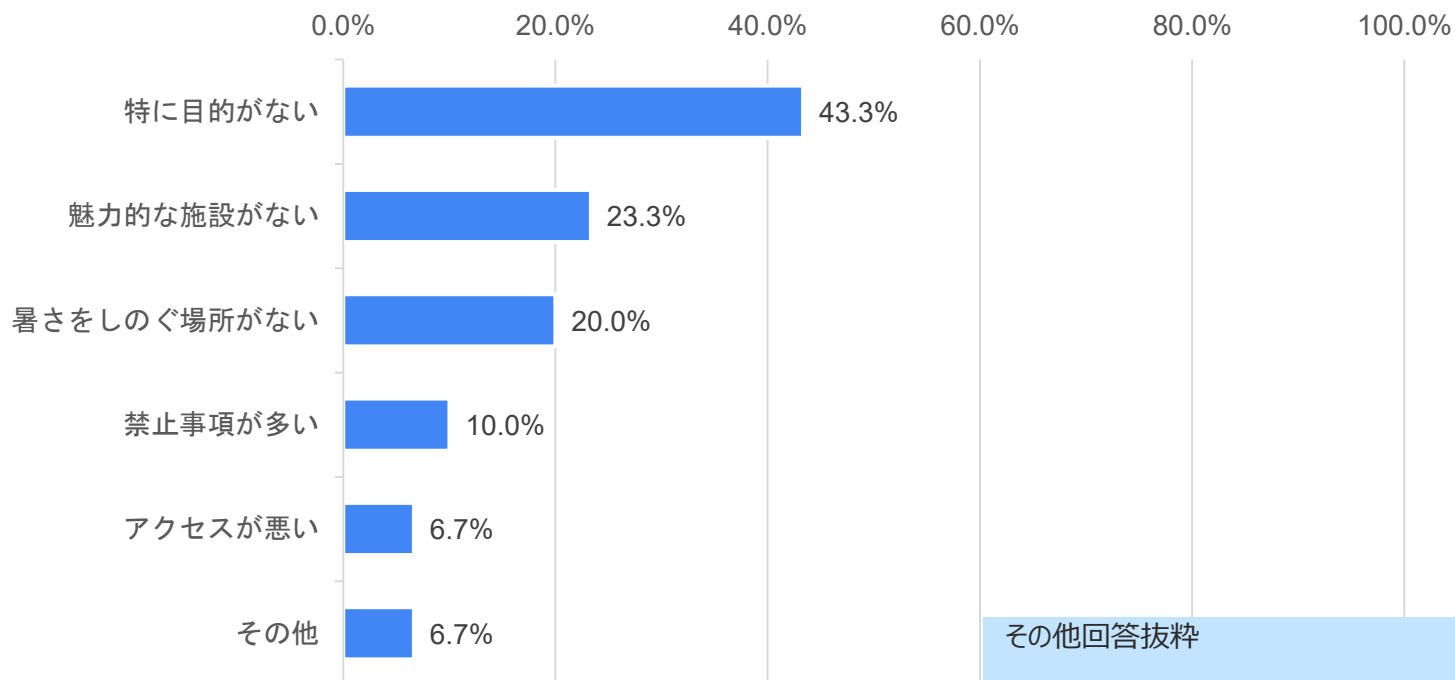
② 調査結果の集計【一般市民】 | Q2-2. 普段公園をどのように利用するか

- 「自然と触れ合う」56.7%が最多となっています。「軽い運動」44.0%、「ベンチ等で休息・休憩」43.3%が続き、散策や休息など日常的な利用が中心となっています。



② 調査結果の集計【一般市民】 | Q2-3.公園を利用しない理由

- 「特に目的がない」43.3%が最多となっています。次いで「魅力的な施設がない」23.3%、「暑さをしのぐ場所がない」20.0%と、施設・環境面の課題が挙げられています。

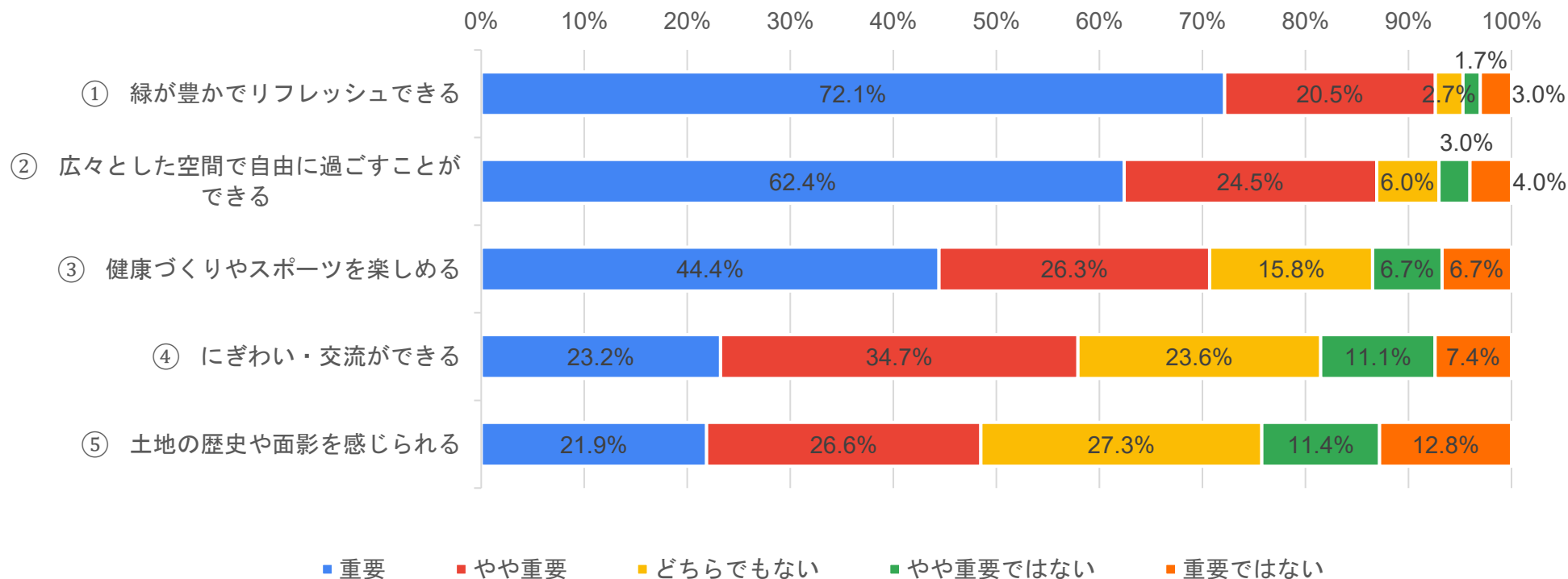


その他回答抜粋

- ・ 日陰・休憩施設（東屋等）の不足
- ・ デパートや商業施設の方がいい
- ・ 犬連れだと、やはり特に小さなお子様に配慮しなければならない
- ・ 虫や鳥への抵抗感

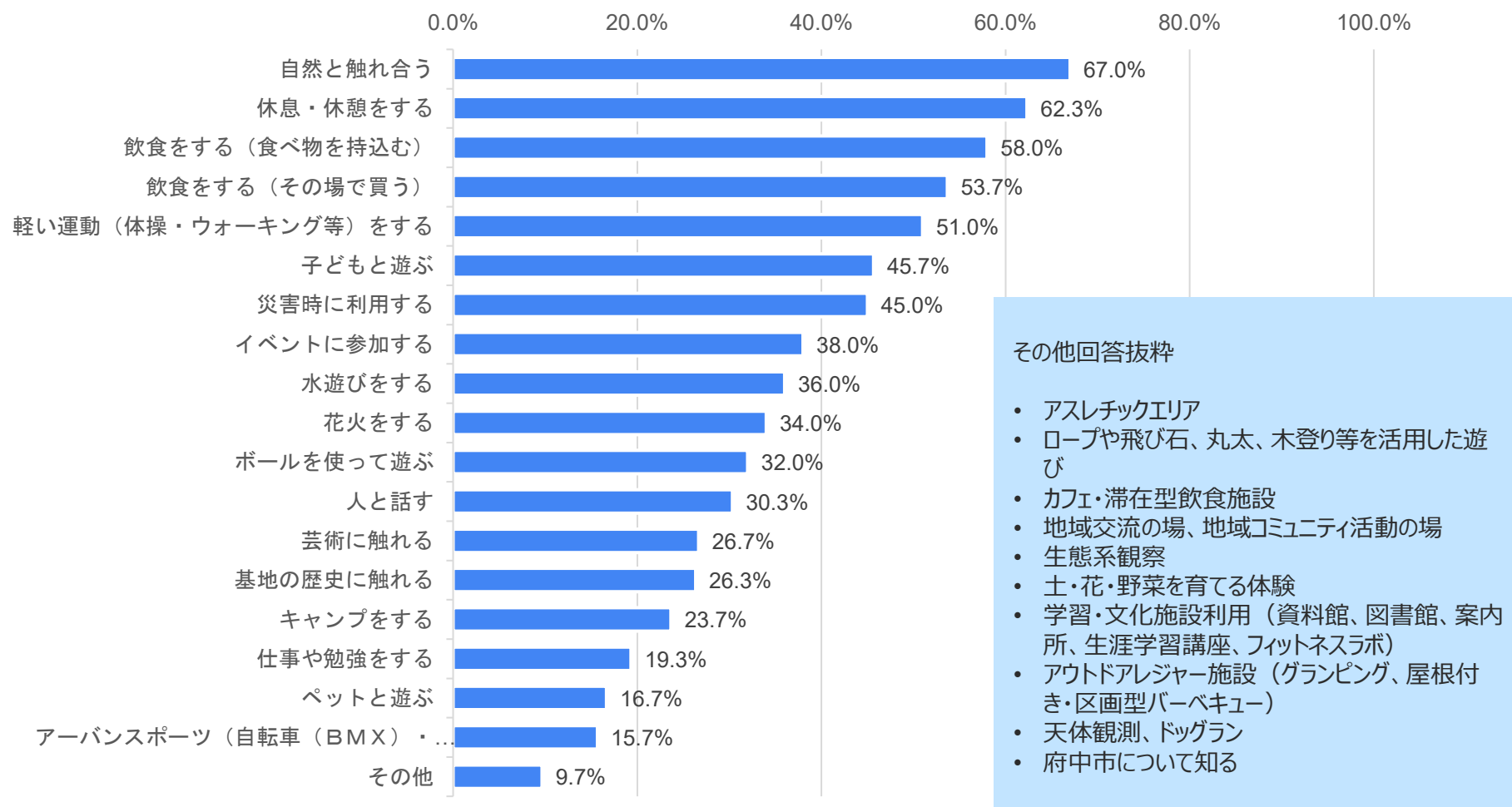
② 調査結果の集計【一般市民】 | Q3-1.特に重視する公園の雰囲気や空間

- 「緑が豊かでリフレッシュできる」72.1%、「広々とした空間で自由に過ごせる」62.4%が「重要」で上位となっています。
- 緑の豊かさへの期待が特に高い傾向にあります。



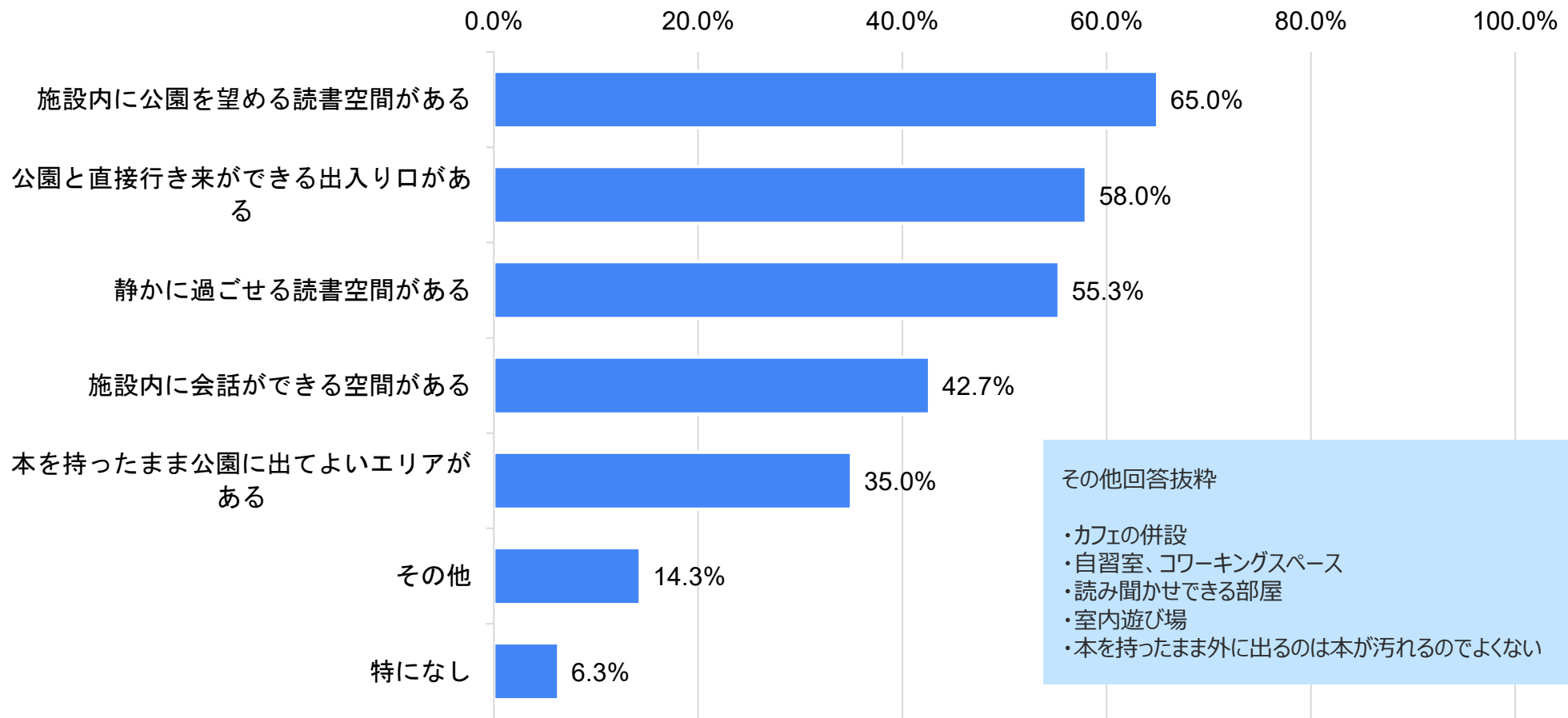
② 調査結果の集計【一般市民】 | Q3-2.新公園でどのようなことをしたいか

- 「自然と触れ合う」67.0%が最多となっています。「休息・休憩をする」62.3%、「飲食をする（食べ物を持込む）」58.0%が続き、飲食に関するニーズも高いことが伺えます。



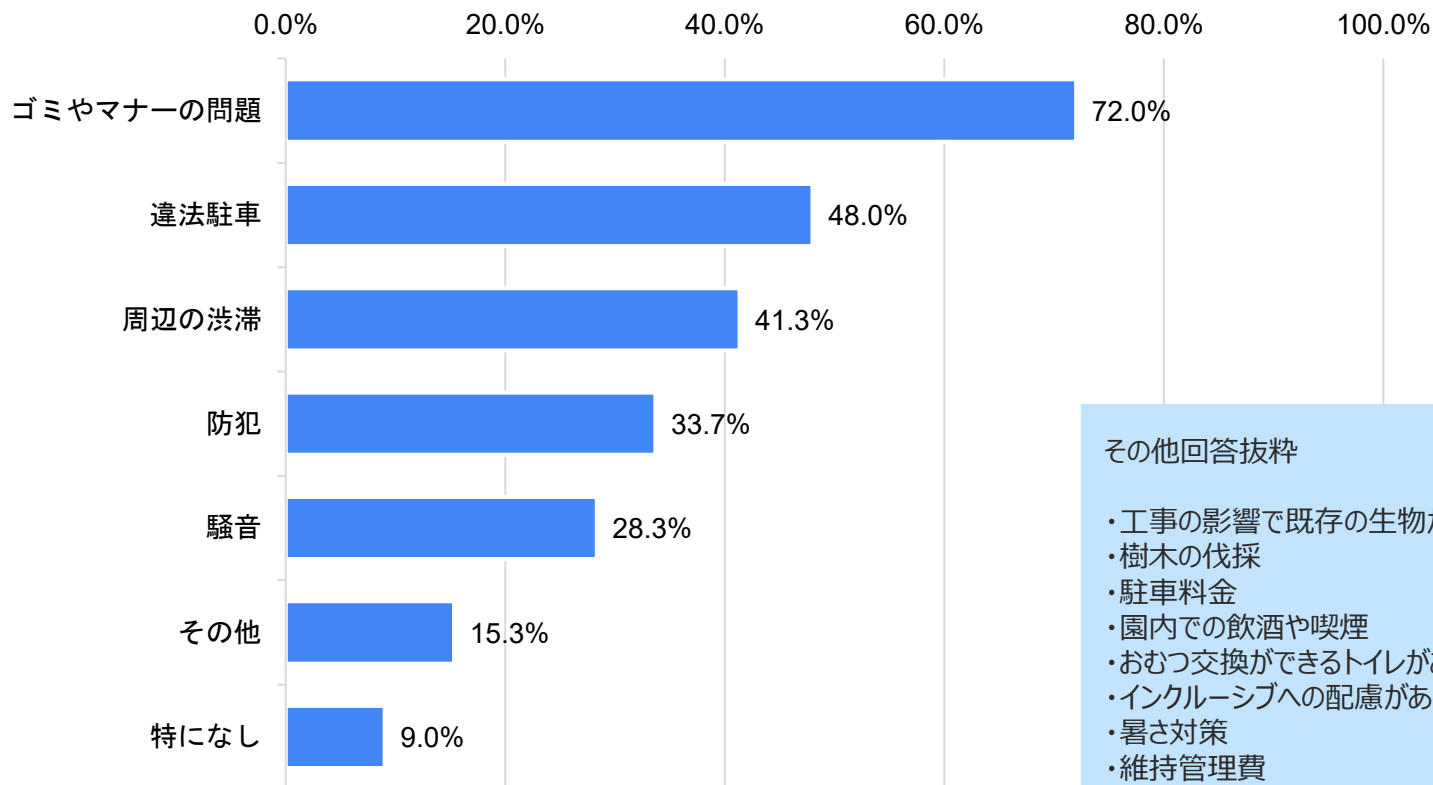
② 調査結果の集計【一般市民】 | Q3-3.図書館であるとよい空間

- 「施設内に公園を望める読書空間がある」65.0%が最も多く、次いで「公園と直接行き来ができる出入り口がある」58.0%となっており、公園との一体的な利用が期待されています。



② 調査結果の集計【一般市民】 | Q3-4.新公園における懸念事項

- 「ゴミやマナーの問題」72.0%が最も多く、次いで「違法駐車」48.0%、「周辺の渋滞」41.3%と、交通面に関する懸念も多く挙げられています。



その他回答抜粋

- ・工事の影響で既存の生物が逃げ出すこと
- ・樹木の伐採
- ・駐車料金
- ・園内での飲酒や喫煙
- ・おむつ交換ができるトイレがあるかどうか
- ・インクルーシブへの配慮があるか
- ・暑さ対策
- ・維持管理費
- ・建設が長引くこと

② 調査結果の集計【一般市民】 | Q3-5.新公園整備に期待すること

- 自然環境の保全を求める意見が最も多く、多世代が楽しめる遊び・運動の場、快適に滞在できる環境、飲食・にぎわい、交通便利性、防災機能への期待が挙げられました。

テーマ	主な意見（自由記述）
自然環境を活かした公園づくり	・現存する樹木や緑をできる限り保全すべきである ・オオタカ等の生態系や自然環境とのつながりを維持すべきである ・過度な施設整備よりも自然を感じられる空間を重視すべきである ・環境負荷の少ない持続可能な公園整備を進めるべきである
子どもから高齢者まで楽しめる遊び・運動の場	・大型遊具や水遊び場など子どもの遊び場を充実すべきである ・ボール遊びや各種スポーツができる場所を確保すべきである ・高齢者向け健康遊具や運動施設を充実すべきである ・多世代が日常的に利用できる健康づくりの場とすべきである
快適に滞在できる環境	・ベンチやテーブルなど休憩施設を充実すべきである ・芝生広場や散策空間などゆったり過ごせる場所を整備すべきである ・日陰や木陰を十分確保し、暑さ対策を行うべきである ・長時間快適に滞在できる環境づくりを進めるべきである
飲食・にぎわい機能の充実	・カフェや売店等を整備し利便性を高めるべきである ・キッチンカーやマルシェなど気軽に利用できる仕組みを導入すべきである ・イベントや体験活動を通じたにぎわいを創出すべきである ・商業機能は過度にならない範囲で導入すべきである
交通アクセス・利便性の向上	・十分な駐車場・駐輪場を確保すべきである ・バス等の公共交通アクセスを向上すべきである ・歩行者や自転車が安全に利用できる動線を整備すべきである ・周辺道路の混雑や渋滞への対策を講じるべきである
安全・防犯・維持管理への配慮	・見通しの良い安全な空間とすべきである ・防犯対策や夜間利用への配慮を行うべきである ・ゴミ対策や清掃等の維持管理を徹底すべきである ・工事中を含め周辺住民への配慮を十分に行うべきである
防災機能の確保	・災害時の避難場所として活用できるようにすべきである ・防災設備や備蓄機能を整備すべきである ・平常時利用と防災機能を両立できる空間とすべきである
歴史・地域性の継承	・基地跡地の歴史を伝える機能を導入すべきである ・地域の特徴や自然環境を活かした公園とすべきである ・府中市を象徴する魅力や個性を創出すべきである

② 調査結果の集計【一般市民】 | 重要視する雰囲気・空間 × 新公園でやりたいこと

- いずれの雰囲気や空間を重視する層でも「自然と触れ合う」「休息・休憩」「飲食」が上位となっています。

		「重要」と回答した割合の上位5項目				
	総計	1位	2位	3位	4位	5位
① 緑が豊かでリフレッシュできる		自然と触れ合う	休息・休憩をする	飲食をする（食べ物を持ち込む）	飲食をする（その場で買う）	軽い運動（体操・ウォーキング等）をする
	215	79.1%	67.0%	60.9%	56.7%	52.1%
② 広々とした空間で自由に過ごすことができる		自然と触れ合う	休息・休憩をする	飲食をする（食べ物を持ち込む）	飲食をする（その場で買う）	軽い運動（体操・ウォーキング等）をする
	186	72.6%	67.2%	65.6%	57.5%	54.3%
③ 健康づくりやスポーツを楽しめる		飲食をする（食べ物を持ち込む）	軽い運動（体操・ウォーキング等）をする	自然と触れ合う	飲食をする（その場で買う）	休息・休憩をする
	132	65.9%	62.1%	60.6%	58.3%	57.6%
④ にぎわい・交流ができる		飲食をする（食べ物を持ち込む）	自然と触れ合う	飲食をする（その場で買う）	休息・休憩をする	子どもと遊ぶ
	69	66.7%	63.8%	63.8%	62.3%	60.9%
⑤ 土地の歴史や面影を感じられる		自然と触れ合う	飲食をする（食べ物を持ち込む）	休息・休憩をする	基地の歴史に触れる	災害時に利用する
	65	75.4%	67.7%	66.2%	64.6%	56.9%

② 調査結果の集計【一般市民】 | 回答者の年齢×新公園でやりたいこと

- 30～40代は「子どもと遊ぶ」が最多、50代以上は「自然と触れ合う」が最多となっています。20代以下では「花火をする」「キャンプをする」などのアクティビティへの関心が高い傾向にあります。

n 値 = 300

		総計	1位	2位	3位	4位	5位
～19歳	n	9	飲食をする（食べ物を持ち込む）	自然と触れ合う	休息・休憩をする	花火をする	飲食をする（その場で買う）
	%	3.0%	88.9%	77.8%	66.7%	66.7%	66.7%
20～29歳	n	16	自然と触れ合う	飲食をする（食べ物を持ち込む）	休息・休憩をする	花火をする	キャンプをする
	%	5.3%	81.3%	68.8%	62.5%	56.3%	43.8%
30～39歳	n	57	子どもと遊ぶ	飲食をする（その場で買う）	休息・休憩をする	自然と触れ合う	飲食をする（食べ物を持ち込む）
	%	19.0%	78.9%	70.2%	68.4%	66.7%	57.9%
40～49歳	n	75	飲食をする（食べ物を持ち込む）	子どもと遊ぶ	飲食をする（その場で買う）	自然と触れ合う	休息・休憩をする
	%	25.0%	69.3%	68.0%	62.7%	60.0%	58.7%
50～59歳	n	72	自然と触れ合う	休息・休憩をする	飲食をする（食べ物を持ち込む）	軽い運動（体操・ウォーキング等）をする	飲食をする（その場で買う）
	%	24.0%	61.1%	59.7%	56.9%	54.2%	48.6%
60～69歳	n	45	自然と触れ合う	休息・休憩をする	飲食をする（食べ物を持ち込む）	軽い運動（体操・ウォーキング等）をする	飲食をする（その場で買う）
	%	15.0%	73.3%	62.2%	40.0%	40.0%	37.8%
70歳以上	n	26	自然と触れ合う	休息・休憩をする	軽い運動（体操・ウォーキング等）をする	災害時に利用する	飲食をする（食べ物を持ち込む）
	%	8.7%	80.8%	65.4%	65.4%	61.5%	42.3%

② 調査結果の集計【一般市民】 | 回答者の年齢×重視する公園の雰囲気・空間

- 全年代で「緑が豊かでリフレッシュできる」が高くなっています。「健康づくりやスポーツ」は若年層で高く、「にぎわい・交流」は全体に低い傾向にあります。

n値 = 300

		「重要」と回答した割合				
	総計	① 緑が豊かでリフレッシュできる	② 広々とした空間で自由に過ごすことができる	③ 健康づくりやスポーツを楽しめる	④ にぎわい・交流ができる	⑤ 土地の歴史や面影を感じられる
～19歳	9	55.6%	77.8%	100.0%	66.7%	77.8%
20～29歳	16	75.0%	81.3%	31.3%	31.3%	31.3%
30～39歳	57	61.4%	52.6%	36.8%	22.8%	14.0%
40～49歳	75	68.0%	68.0%	54.1%	21.6%	18.9%
50～59歳	72	75.0%	62.5%	45.8%	26.4%	22.2%
60～69歳	45	76.7%	58.1%	32.6%	14.0%	25.6%
70歳以上	26	96.2%	57.7%	38.5%	15.4%	15.4%

② 調査結果の集計【一般市民】 | 同居している子どもの年齢×新公園でやりたいこと

- ・ 未就学児と同居する層は「子どもと遊ぶ」95.7%、「水遊びをする」72.9%が多い傾向にあります。
- ・ 中学生以上では「自然と触れ合う」「休息・休憩」が中心となっています。

n値 = 195

	総計	1位	2位	3位	4位	5位
未就学児	70	子どもと遊ぶ	飲食をする（その場で買う）	水遊びをする	飲食をする（食べ物を持込む）	自然と触れ合う
		95.7%	74.3%	72.9%	68.6%	67.1%
小学生	75	子どもと遊ぶ	飲食をする（食べ物を持込む）	自然と触れ合う	ボールを使って遊ぶ	休息・休憩をする
		46.7%	40.0%	34.7%	33.3%	32.0%
中学生以上	50	自然と触れ合う	休息・休憩をする	軽い運動（体操・ウォーキング等）をする	人と話す	飲食をする（その場で買う）
		50.0%	46.0%	38.0%	36.0%	34.0%

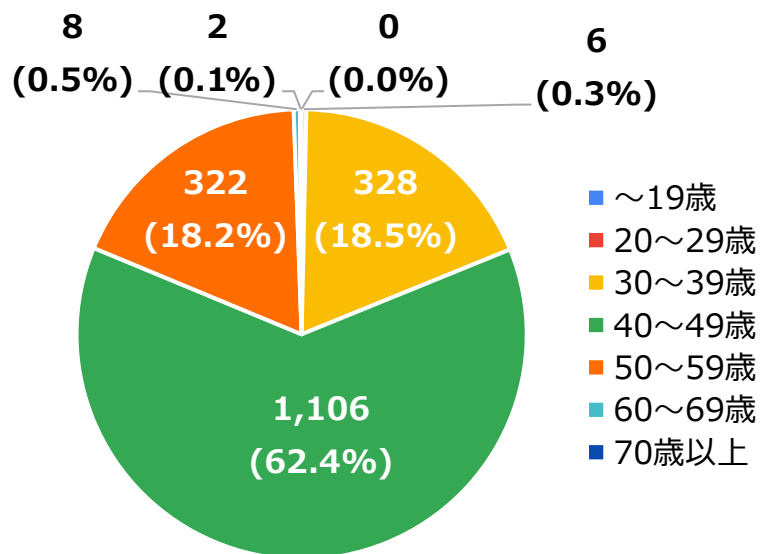
② 調査結果の集計【一般市民】 | 普段公園を利用しない理由×新公園でやりたいこと

- 普段公園を利用しない層でも「飲食」「自然と触れ合う」「休息・休憩」が上位となっています。全体と比べ、「花火をする」「キャンプをする」などのアクティビティへの関心が高い傾向にあります。

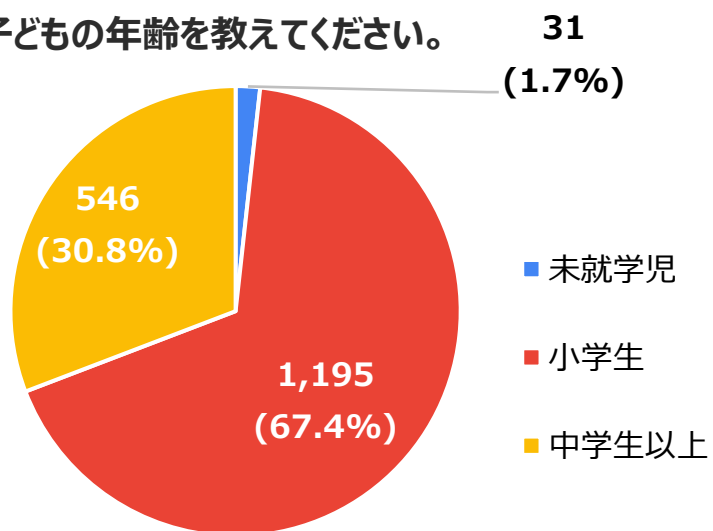
	総計	1位	2位	3位	4位	5位
特に目的がない	13	飲食をする（食べ物を 持込む）	自然と触れ合う	人と話す	休息・休憩をする	飲食をする（その場で 買う）
		46.2%	38.5%	38.5%	30.8%	30.8%
魅力的な施設がない	7	自然と触れ合う	アーバンスポーツ（自転 車（BMX）・スケート ボード・バスケットボール 等）をする	休息・休憩をする	キャンプをする	飲食をする（食べ物を 持込む）
		42.9%	42.9%	28.6%	28.6%	28.6%
アクセスが悪い	2	休息・休憩をする	キャンプをする	花火をする	飲食をする（食べ物を 持込む）	飲食をする（その場で 買う）
		50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
禁止事項が多い	3	飲食をする（食べ物を 持込む）	アーバンスポーツ（自転 車（BMX）・スケート ボード・バスケットボール 等）をする	休息・休憩をする	キャンプをする	飲食をする（その場で 買う）
		66.7%	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%
暑さをしのぐ場所がない	6	休息・休憩をする	飲食をする（食べ物を 持込む）	自然と触れ合う	キャンプをする	飲食をする（その場で 買う）
		66.7%	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%
その他	2	花火をする	飲食をする（食べ物を 持込む）	飲食をする（その場で 買う）	仕事や勉強をする	災害時に利用する
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

③ 調査結果の集計【保護者】 | 回答者の属性

1-1. あなたの年齢を教えてください。



1-2. 子どもの年齢を教えてください。



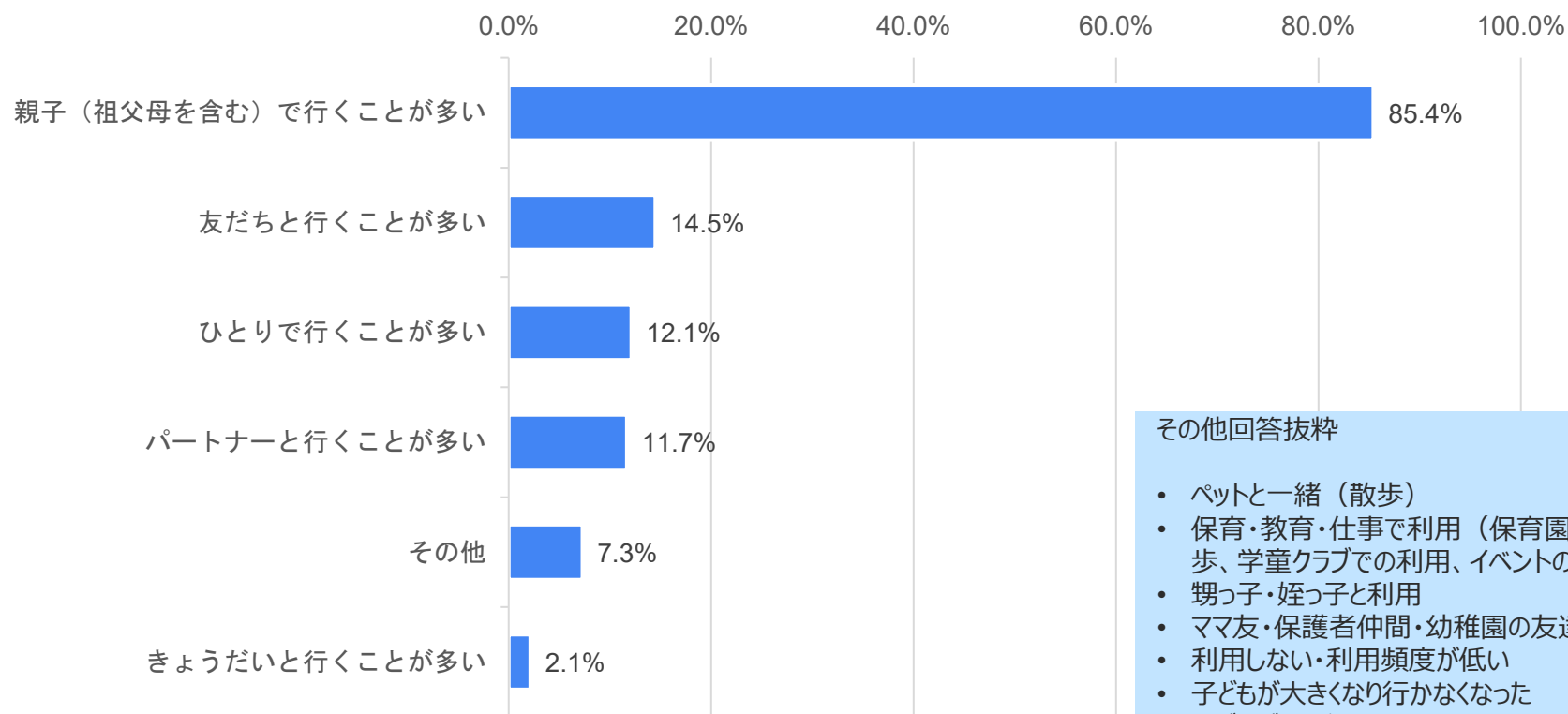
1-3. お住まいの地区を教えてください。

紅葉丘文化センター地区（多磨町、朝日町、紅葉丘、若松町 3～5 丁目）	187	10.6%
白糸台文化センター地区（白糸台、小柳町 1 丁目、若松町 1～2 丁目、清水が丘 3 丁目）	224	12.6%
押立文化センター地区（押立町）	44	2.5%
是政文化センター地区（小柳町 2～6 丁目、清水が丘 1～2 丁目、是政）	142	8.0%
住吉文化センター地区（南町、分梅町 2～5 丁目、住吉町）	145	8.2%
片町文化センター地区（矢崎町、本町、片町、宮西町、日鋼町、美好町、分梅町 1 丁目、寿町 3 丁目）	173	9.8%
中央文化センター地区（天神町 1～2 丁目、幸町 1～2 丁目、府中町、緑町、宮町、八幡町、寿町 1～2 丁目、晴見町 1～2 丁目、日吉町）	332	18.7%
新町文化センター地区（浅間町、天神町 3～4 丁目、新町、晴見町 3～4 丁目、栄町、幸町 3 丁目）	225	12.7%
武蔵台文化センター地区（武蔵台、北山町、西原町）	70	4.0%
西府文化センター地区（東芝町、日新町 1～4 丁目、本宿町、西府町）	122	6.9%
四谷文化センター地区（四谷、日新町 5 丁目）	107	6.0%
府中市外	1	0.1%

※府中市外：栄町

③ 調査結果の集計【保護者】 | Q2-1.公園に誰と行くか

- 「親子（祖父母を含む）で行く」85.4%が突出して多く、次いで「友達と行く」14.5%、「ひとりで行く」12.1%となっています。

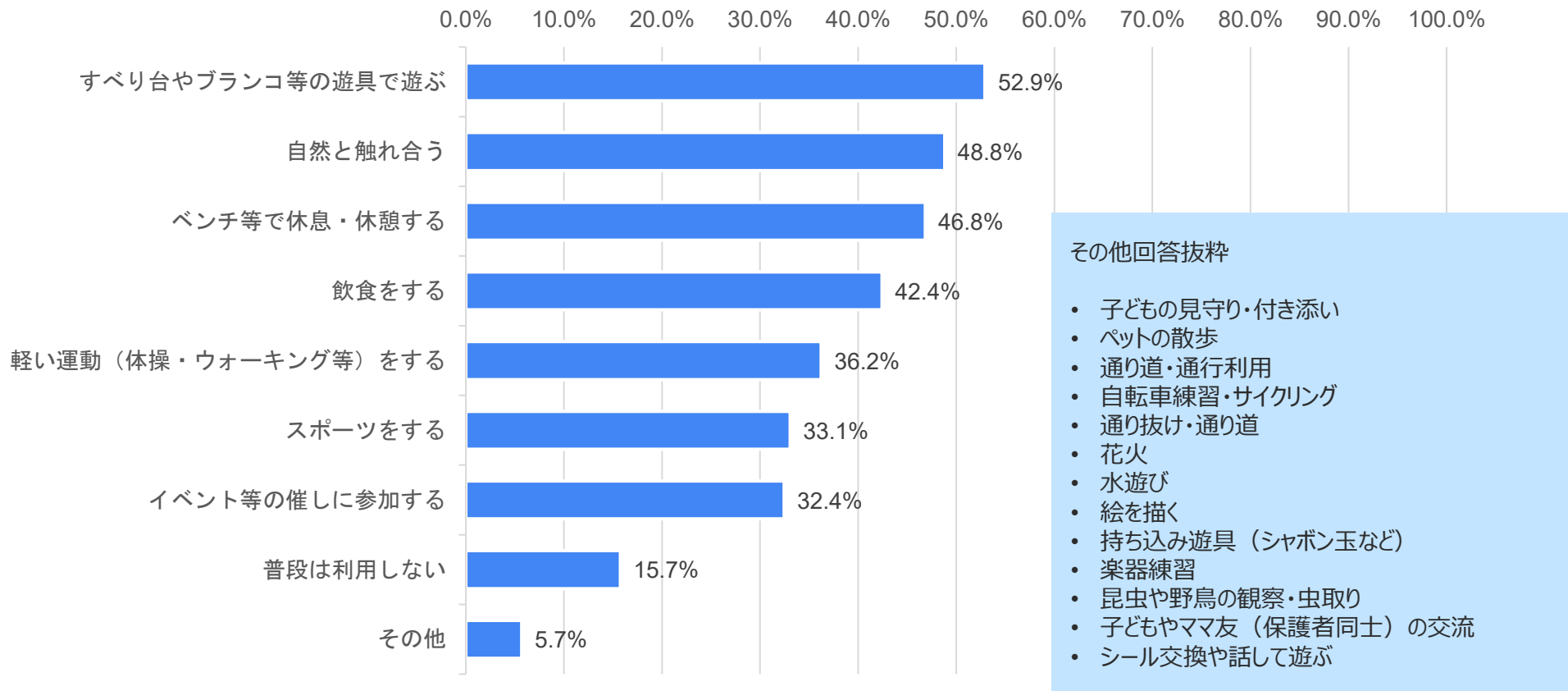


その他回答抜粋

- ペットと一緒に（散歩）
- 保育・教育・仕事で利用（保育園の子ども、散歩、学童クラブでの利用、イベントの手伝い等）
- 甥っ子・姪っ子と利用
- ママ友・保護者仲間・幼稚園の友達
- 利用しない・利用頻度が低い
- 子どもが大きくなり行かなくなった
- 子どもだけで行くようになった
- 通り抜け利用（体育館利用時など）
- ハンディキャップがある人

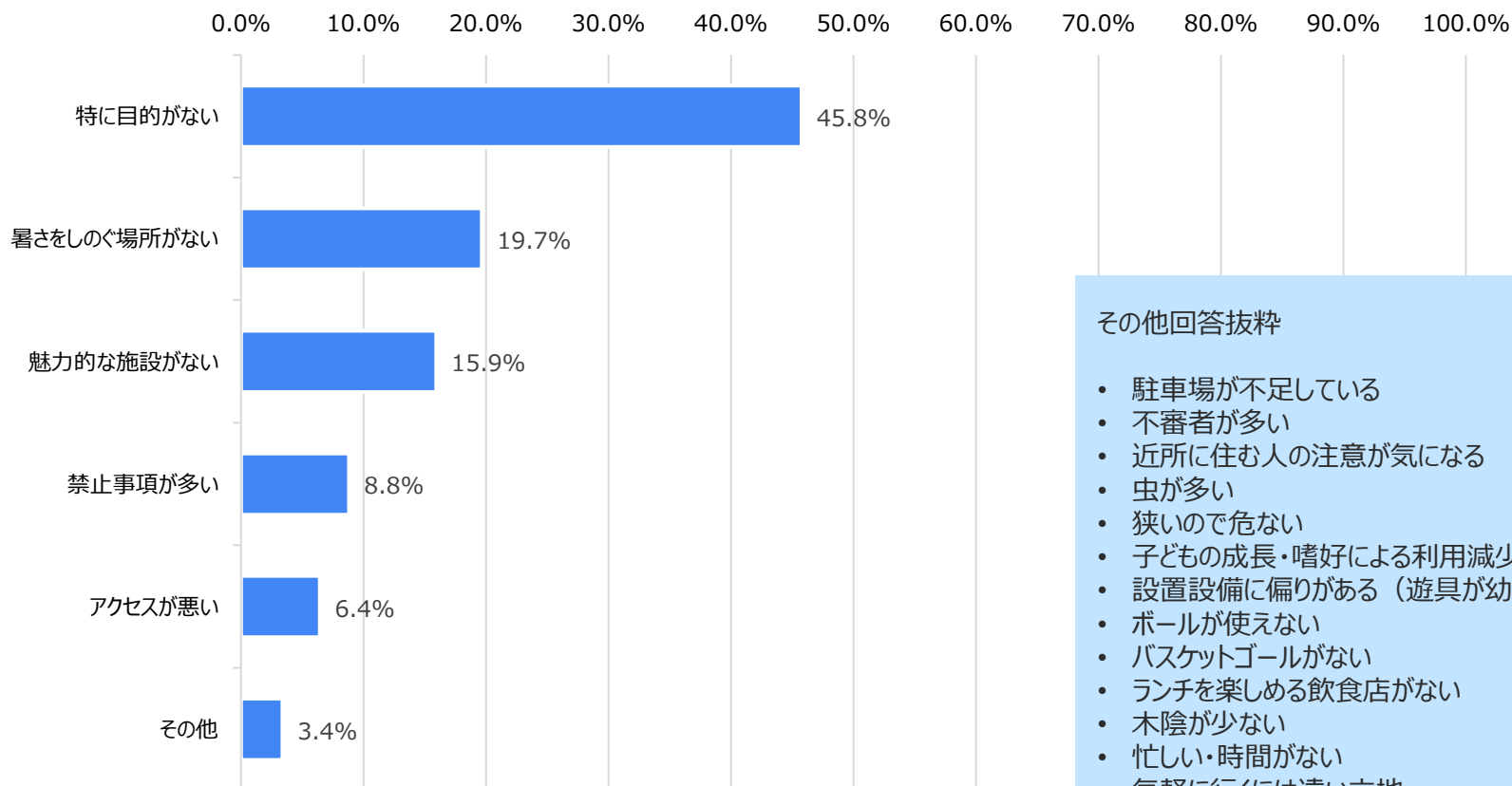
③ 調査結果の集計【保護者】 | Q2-2. 普段公園をどのように利用するか

- 「すべり台やブランコ等の遊具で遊ぶ」52.9%が最多で、次いで、「自然と触れ合う」48.8%、「ベンチ等で休息・休憩」46.8%となっています。一般市民では自然との触れ合い（56.7%）が最多だったのに対し、保護者は遊具利用が最上位となり、子どもの遊び場としての機能が重視されています。



③ 調査結果の集計【保護者】 | Q2-3.公園を利用しない理由

- 「特に目的がない」45.8%が最多、次いで「暑さをしのぐ場所がない」19.7%、「魅力的な施設がない」15.9%です。一般市民と比べ暑さに関する課題が施設面より上位になっています。

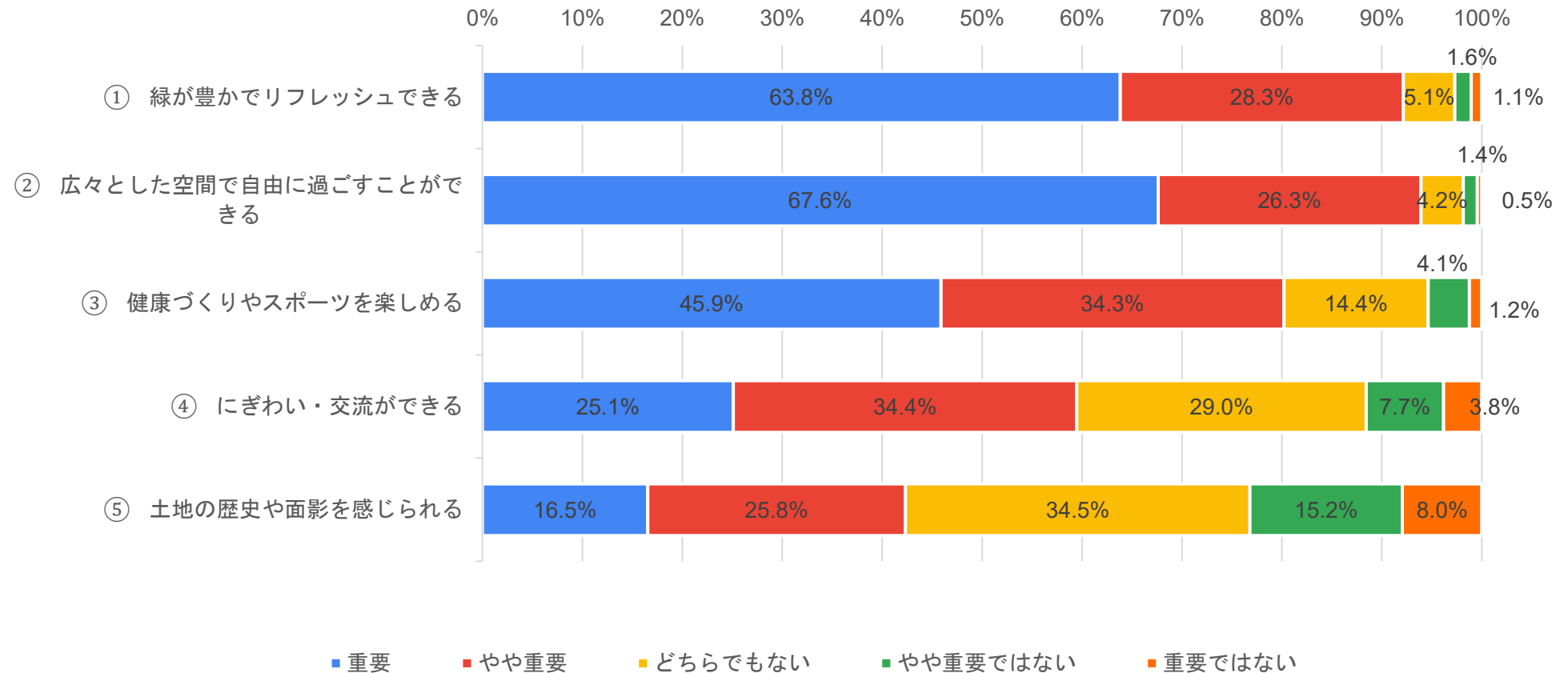


その他回答抜粋

- ・ 駐車場が不足している
- ・ 不審者が多い
- ・ 近所に住む人の注意が気になる
- ・ 虫が多い
- ・ 狭いので危ない
- ・ 子どもの成長・嗜好による利用減少
- ・ 設置設備に偏りがある（遊具が幼児向けすぎる）
- ・ ボールが使えない
- ・ バasketゴールがない
- ・ ランチを楽しめる飲食店がない
- ・ 木陰が少ない
- ・ 忙しい・時間がない
- ・ 気軽に行くには遠い立地
- ・ 特定の利用者に偏っている傾向がある

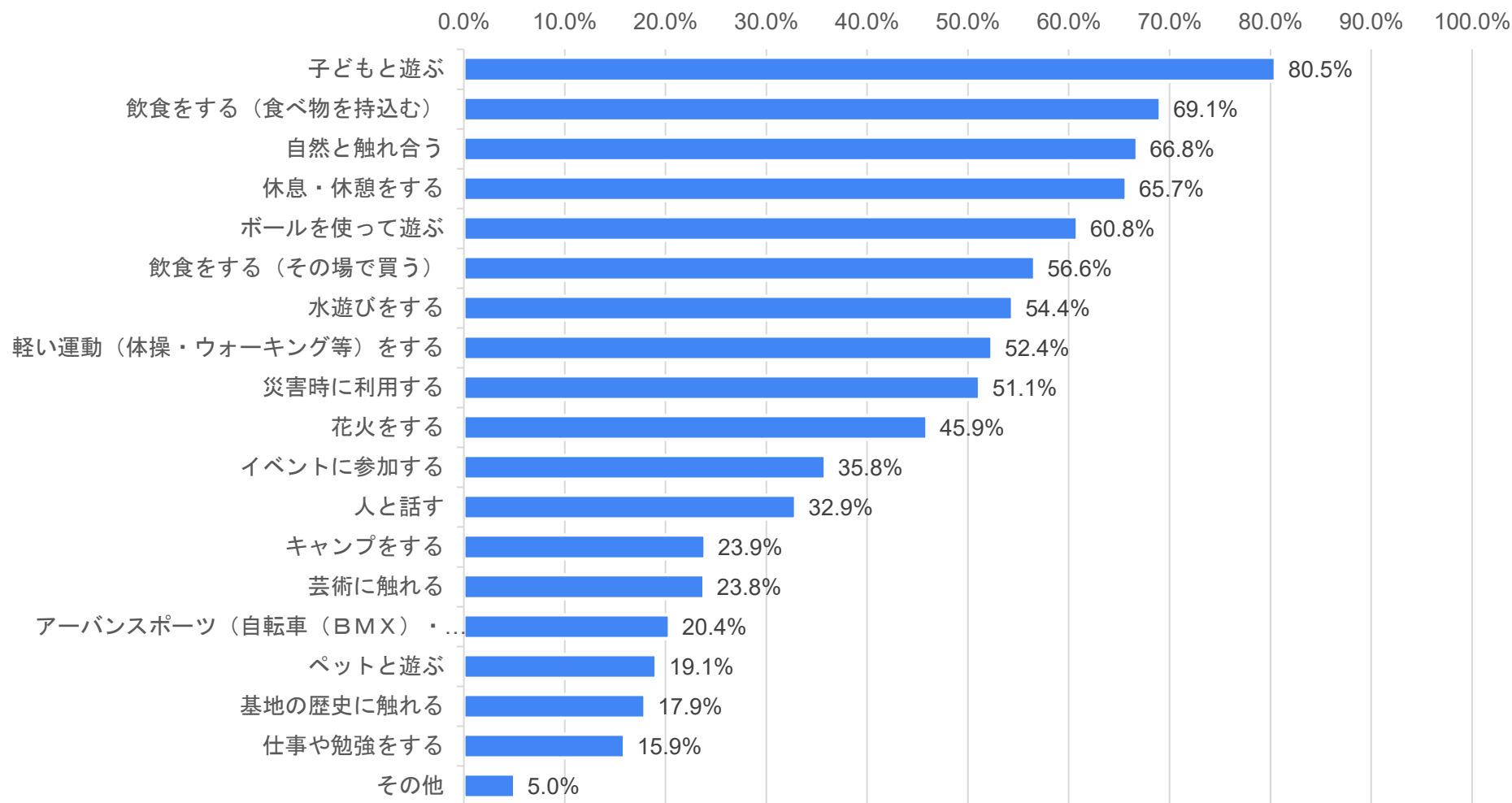
③ 調査結果の集計【保護者】 | Q3-1.特に重視する公園の雰囲気や空間

- 「広々とした空間で自由に過ごせる」67.6%が「重要」で最も多く、次いで、「緑が豊かでリフレッシュできる」63.8%となっています。
- 一般市民では緑の豊かさ（72.1%）が最上位であったのに対し、保護者では順位が逆転しており、子どもが自由に動ける広さへの期待が相対的に高い傾向がうかがえます。



③ 調査結果の集計【保護者】 | Q3-2.新公園でどのようなことをしたいか

- 「子どもと遊ぶ」80.5%が最多で、次いで、「飲食をする（持込み）」69.1%、「自然と触れ合う」66.8%となっています。一般市民と比べ、身体を動かす遊びと水辺空間へのニーズが多い傾向にあります。



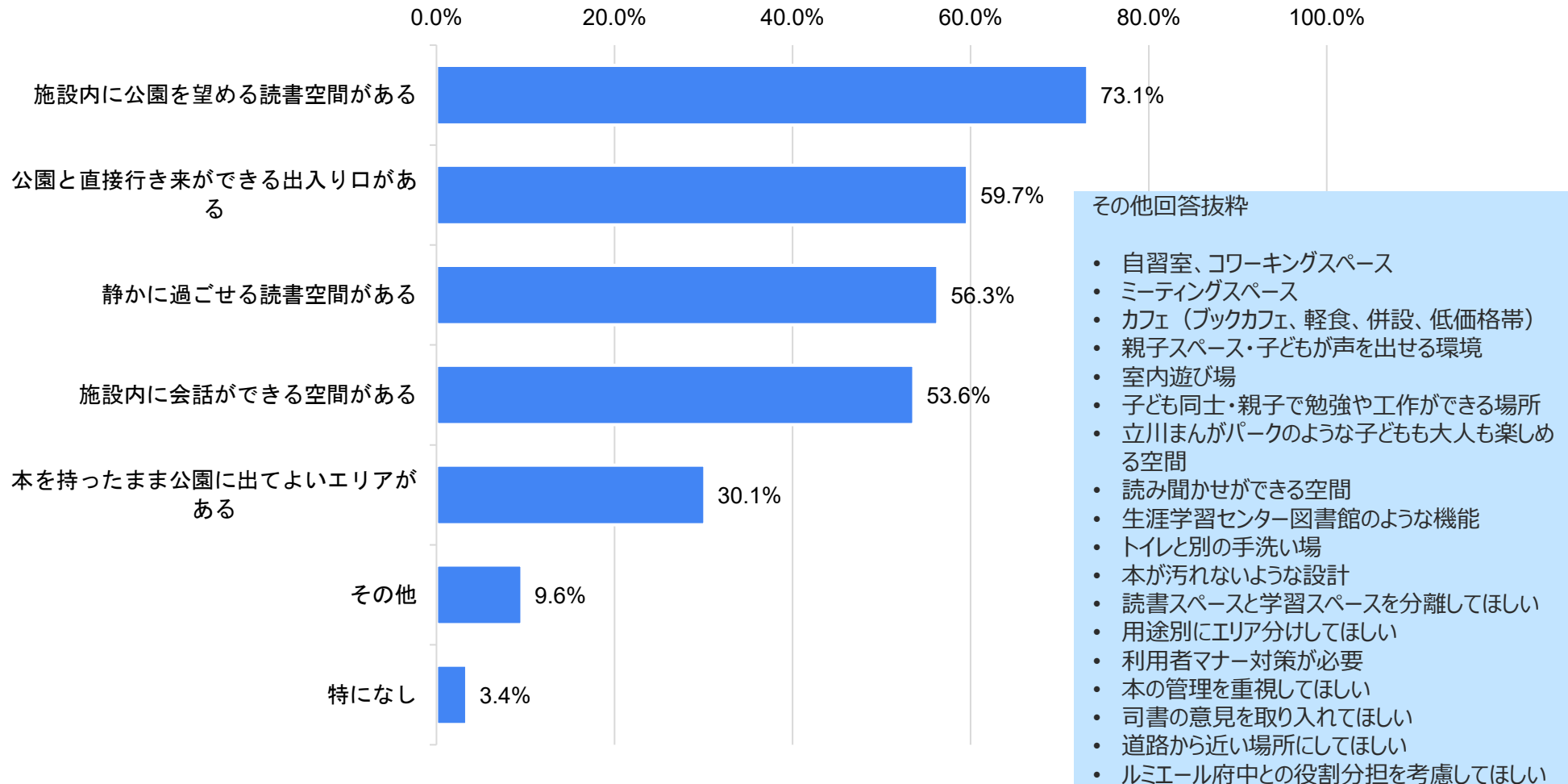
③ 調査結果の集計【保護者】 | Q3-2.新公園でどのようなことをしたいか

その他回答抜粋

- 近隣に大規模公園があるため、類似した公園整備は不要
- 公園拡張よりも商業・利便施設整備を優先すべき
- 公園機能よりも周辺施設との連携（周辺施設で購入した食品やレジャー用品の持ち込みなど）を重視すべき
- サッカーや野球の試合、中規模～大規模な大会ができる（同時に何試合もできる）
- スポーツ施設や文化施設を作るのは時代遅れなのでやめてほしい。浅間山のような自然主体の整備で十分。
- 子ども優先の居場所を希望。また地下施設など災害時のシェルターがあると良い
- 既存の動植物を楽しむ野鳥や昆虫の観察をしたい
- アイススケートしたい
- 懸垂がしたい
- アスレチック
- バasketコートがほしい
- たくさんの遊具で遊びたい（大型遊具、大人も遊べるアスレチック、室内遊具）
- 自転車練習できるスペース
- 夜に天体観測
- 雨宿り・暑さ寒さをしのげる場所
- おしゃれな飲食店（テイクアウト含む）
- 室内温水プール
- サッカーエリア、バドミントンエリアなどスポーツごとに区切られると安心して使用
- 楽器の自主練習
- バーベキュー
- 清潔なトイレ、おむつ替え設備、冷暖房の整った施設の充実
- 酷暑時でも利用できる広い室内遊び場（スポーツ以外）
- ジョギング・ランニング周回コース
- トレーニングジム（筋トレマシン、エアロバイク等）
- トライアスロン大会開催場所
- 森林を活用したアスレチック（子ども向け・大人向け）
- 徳島県の生垣迷路のような遊び
- ソリ遊び
- 未就学児が安心して遊べる場所
- 泥遊びができる空間
- インクルーシブデザイン
- 子どものためのアートワーク
- キッズプログラム
- 障害の有無に関わらず自由な発想で遊べる自然豊かな公園
- 犬や動物が入れないエリア
- ライブ演奏ができるミニ劇場・オープンスペース
- デジタルクリエイティブ体験
- 季節の花を見ながら散歩
- 小動物とのふれあい
- 噴水などの水辺鑑賞
- オオタカの巣を活かした環境保全
- 自然豊かな公園
- 高齢者の居場所
- 大規模駐車場
- ラジコンレース
- キックバイク・ストライダーレース
- ドローンレース
- 住宅街ではできないことができる場所
- バーベキューができる場所
- 災害に備えた畑

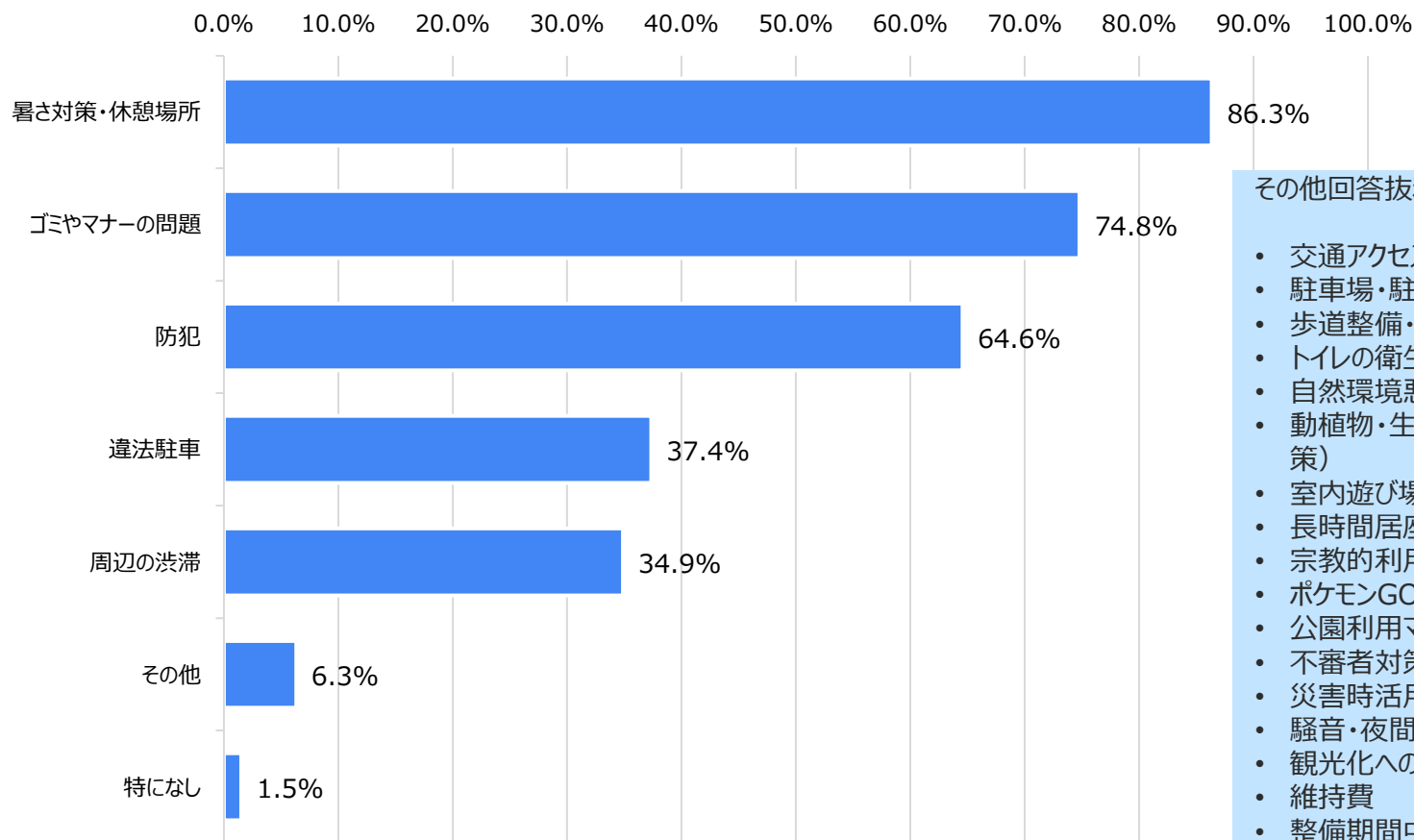
③ 調査結果の集計【保護者】 | Q3-3.図書館であるとよい空間

- 「施設内に公園を望める読書空間がある」73.1%が最多、次いで「公園と直接行き来ができる出入り口がある」59.7%となっています。



③ 調査結果の集計【保護者】 | Q3-4.新公園における懸念事項

- ・「暑さ対策・休憩場所」86.3%が最多で、次いで、「ゴミやマナーの問題」74.8%、「防犯」64.6%となっています。
- ・一般市民ではゴミ・マナー（72.0%）に次いで交通面の懸念が上位でしたが、保護者は暑さ対策と防犯が上位に入り、子どもの安全・快適性への関心の高さが伺えます。



その他回答抜粋

- ・ 交通アクセスについて
- ・ 駐車場・駐輪場について
- ・ 歩道整備・各車両・歩行者動線
- ・ トイレの衛生面について
- ・ 自然環境悪化・生態系への影響
- ・ 動植物・生物対策（オオカミの保護、害虫対策）
- ・ 室内遊び場やボールの扱いについての危険性
- ・ 長時間居座り・占有
- ・ 宗教的利用
- ・ ポケモンGO問題
- ・ 公園利用マナー
- ・ 不審者対策セキュリティ
- ・ 災害時活用、防災対策、基地跡地の安全性
- ・ 騒音・夜間騒音、近隣クレーム、近隣との共存
- ・ 観光化への懸念
- ・ 維持費
- ・ 整備期間中の利用停止
- ・ 喫煙問題
- ・ その他、樹木医による管理、ペット不可エリア、基地跡の安全性など少数意見

③ 調査結果の集計【保護者】 | Q3-5.新公園整備に期待すること

テーマ	主な意見（自由記述）
子ども・青少年が思い切り遊べる場	・サッカー、野球、キャッチボール、バスケットボールなどボール遊びができる場所を整備してほしい ・小学生高学年や中高生向けのアスレチックや大型遊具を設置してほしい ・未就学児向けと小学生以上向けのエリアを分けてほしい ・プレイパークや自由な遊びができる空間を設けてほしい
スポーツ・運動施設の充実	・バスケットコート、テニスコート、フットサル場などを整備してほしい ・壁打ちやボール練習ができる場所を確保してほしい ・屋内プールや総合スポーツ施設を整備してほしい ・スケートボード等のアーバンスポーツ施設もほしい
暑さ対策・全天候型施設	・日陰や木陰を多く確保するなど、屋根付き広場や休憩施設を整備してほしい ・雨天や猛暑でも利用できる屋内遊び場がほしい ・ミスト、水遊び場、じゃぶじゃぶ池などを整備してほしい
トイレ・休憩施設の充実	・清潔で安全なトイレを整備してほしい ・子ども用トイレやおむつ替えスペースを充実してほしい ・ベンチや休憩スペースを増やしてほしい
飲食・にぎわい機能の導入	・カフェやスターバックスなどの飲食施設・売店、コンビニを整備してほしい ・キッチンカーやマルシェを開催してほしい ・家族連れが利用しやすいレストランを設けてほしい
図書館・学習・居場所機能	・図書館を充実してほしい ・自習室や学習スペースを確保してほしい（グループ学習含む） ・中高生が安心して過ごせる居場所を整備してほしい
駐車場・駐輪場・交通アクセス	・十分な駐車場を確保してほしい ・バス路線や公共交通アクセスを改善してほしい ・渋滞対策や歩行者・自転車動線の安全確保が必要
安全・防犯対策	・見通しが良く死角の少ない公園にしてほしい ・防犯カメラや警備員の配置を検討してほしい・トイレ周辺の防犯対策を強化してほしい ・子どもだけでも安心して利用できる環境にしてほしい
自然環境・生態系の保全	・既存樹木や森林をできる限り残してほしい ・オオタカ等の生態系に配慮し、自然と触れ合える空間を確保してほしい
ドッグラン・ペット利用	・ドッグランの整備など、ペットと利用しやすい環境を整えてほしい ・犬連れと一般利用者が共存できる仕組みがほしい
防災・避難機能	・避難場所として活用できるようにしてほしい・防災設備や備蓄機能を整備してほしい ・平常時利用と防災機能を両立してほしい
歴史・地域資源の継承	・基地跡地の歴史など、地域の自然や文化を伝えてほしい ・歴史的建物や遺構を保存・活用してほしい

③ 調査結果の集計【保護者】 | 重要視する雰囲気・空間 × 新公園でやりたいこと

- いずれの雰囲気を重視する層でも「子どもと遊ぶ」が1位（80.3～86.1%）となっています。一方で、「緑が豊かでリフレッシュできる」層では「自然と触れ合う」78.0%、「健康づくりやスポーツを楽しめる」層では「ボールを使って遊ぶ」72.9%が上位となっており、重視する空間によって求める過ごし方に違いがみられます。

		「重要」と回答した割合の上位5項目				
	総計	1位	2位	3位	4位	5位
① 緑が豊かでリフレッシュできる		子どもと遊ぶ	自然と触れ合う	休息・休憩をする	飲食をする（食べ物を持ち込む）	ボールを使って遊ぶ
	1131	80.3%	78.0%	72.8%	70.7%	61.1%
② 広々とした空間で自由に過ごすことができる		子どもと遊ぶ	飲食をする（食べ物を持ち込む）	自然と触れ合う	休息・休憩をする	ボールを使って遊ぶ
	1198	83.6%	72.7%	72.3%	71.1%	65.6%
③ 健康づくりやスポーツを楽しめる		子どもと遊ぶ	ボールを使って遊ぶ	飲食をする（食べ物を持ち込む）	自然と触れ合う	休息・休憩をする
	813	81.4%	72.9%	70.4%	68.0%	65.4%
④ にぎわい・交流ができる		子どもと遊ぶ	飲食をする（食べ物を持ち込む）	自然と触れ合う	休息・休憩をする	ボールを使って遊ぶ
	445	86.1%	77.5%	72.4%	72.1%	71.2%
⑤ 土地の歴史や面影を感じられる		子どもと遊ぶ	自然と触れ合う	飲食をする（食べ物を持ち込む）	休息・休憩をする	ボールを使って遊ぶ
	293	80.9%	77.1%	73.7%	72.7%	62.5%

③ 調査結果の集計【保護者】 | 回答者の年齢×新公園でやりたいこと

- 回答者の中心を占める30～40代では「子どもと遊ぶ」が最多（30代94.8%、40代82.1%）ですが、50代では「休息・休憩をする」71.7%、「自然と触れ合う」71.1%が上位となります。子育て期からその後の段階へと、過ごし方のニーズが変化していく傾向がうかがえます。n 値 = 1,772

		総計	1位	2位	3位	4位	5位
～19歳	n	0	子どもと遊ぶ	ペットと遊ぶ	休息・休憩をする	自然と触れ合う	キャンプをする
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29歳	n	6	子どもと遊ぶ	水遊びをする	休息・休憩をする	自然と触れ合う	ボールを使って遊ぶ
	%	0.3%	100.0%	83.3%	66.7%	66.7%	66.7%
30～39歳	n	328	子どもと遊ぶ	飲食をする（食べ物を 持込む）	水遊びをする	飲食をする（その場で 買う）	ボールを使って遊ぶ
	%	18.5%	94.8%	77.7%	69.8%	64.9%	63.7%
40～49歳	n	1,106	子どもと遊ぶ	飲食をする（食べ物を 持込む）	自然と触れ合う	休息・休憩をする	ボールを使って遊ぶ
	%	62.4%	82.1%	68.8%	67.3%	64.7%	63.7%
50～59歳	n	322	休息・休憩をする	自然と触れ合う	飲食をする（食べ物を 持込む）	子どもと遊ぶ	軽い運動（体操・ ウォーキング等）をする
	%	18.2%	71.7%	71.1%	63.0%	60.6%	58.1%
60～69歳	n	8	災害時に利用する	子どもと遊ぶ	ボールを使って遊ぶ	休息・休憩をする	自然と触れ合う
	%	0.5%	62.5%	50.0%	50.0%	37.5%	37.5%
70歳以上	n	2	子どもと遊ぶ	休息・休憩をする	自然と触れ合う	ボールを使って遊ぶ	軽い運動（体操・ ウォーキング等）をする
	%	0.1%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%

③ 調査結果の集計【保護者】 | 回答者の年齢×重視する公園の雰囲気・空間

- 全年代で「広々とした空間で自由に過ごすことができる」「緑が豊かでリフレッシュできる」が上位で、40代はそれぞれ68.6%、65.1%、50代では「緑が豊か」71.4%が最も高くなっています。一方で「にぎわい・交流」「土地の歴史や面影」は全年代で2割前後と低く、緑と開放感への期待が共通して高いことがわかります。

n 値 = 1,772

		「重要」と回答した割合				
	総計	① 緑が豊かでリフレッシュできる	② 広々とした空間で自由に過ごすことができる	③ 健康づくりやスポーツを楽しめる	④ にぎわい・交流ができる	⑤ 土地の歴史や面影を感じられる
～19歳	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29歳	6	50.0%	50.0%	50.0%	33.3%	16.7%
30～39歳	328	52.4%	64.3%	39.6%	27.4%	16.2%
40～49歳	1,106	65.1%	68.6%	47.3%	24.8%	16.0%
50～59歳	322	71.4%	67.4%	46.3%	24.2%	18.3%
60～69歳	8	50.0%	75.0%	75.0%	12.5%	25.0%
70歳以上	2	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	50.0%

③ 調査結果の集計【保護者】 | 同居している子どもの年齢×新公園でやりたいこと

- 未就学児と同居する層では「子どもと遊ぶ」100.0%、小学生でも91.6%と高く、「水遊び」や「ボールを使って遊ぶ」も上位となっています。一方、中学生以上では「休息・休憩をする」67.8%、「自然と触れ合う」67.4%が上位となり、子どもの遊び場から大人自身が過ごす場へとニーズが移行します。

n 値 = 1,772

	総計	1位	2位	3位	4位	5位
未就学児	31	子どもと遊ぶ	飲食をする（食べ物を 持込む）	ボールを使って遊ぶ	水遊びをする	休息・休憩をする
		100.0%	90.3%	83.9%	80.6%	74.2%
小学生	1,195	子どもと遊ぶ	飲食をする（食べ物を 持込む）	自然と触れ合う	ボールを使って遊ぶ	休息・休憩をする
		91.6%	72.2%	66.3%	65.1%	64.5%
中学生以上	546	休息・休憩をする	自然と触れ合う	飲食をする（食べ物を 持込む）	軽い運動（体操・ ウォーキング等）をする	子どもと遊ぶ
		67.8%	67.4%	61.0%	59.7%	54.9%

③ 調査結果の集計【保護者】 | 普段公園を利用しない理由×新公園でやりたいこと

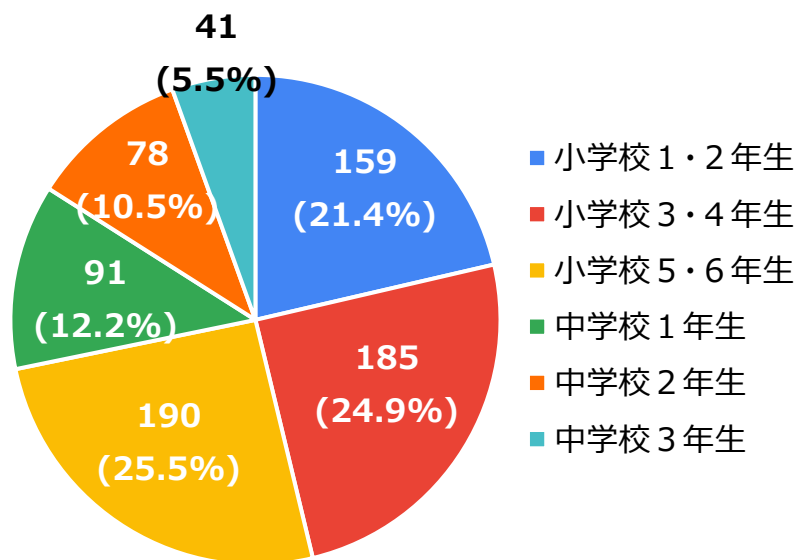
- 「自然と触れ合う」「飲食をする（食べ物を持込む）」「休息・休憩をする」が共通して上位となっています。理由別では、「禁止事項が多い」層では「ボールを使って遊ぶ」76.9%、「暑さをしのぐ場所がない」層では「飲食をする（食べ物を持込む）」72.4%が最多であり、利用しない理由に応じた環境整備が利用促進につながると考えられます。

n 値 = 295

	総計	1位	2位	3位	4位	5位
特に目的がない	135	自然と触れ合う	飲食をする（食べ物を持込む）	休息・休憩をする	飲食をする（その場で買う）	災害時に利用する
		52.6%	51.9%	51.1%	48.1%	47.4%
魅力的な施設がない	47	飲食をする（食べ物を持込む）	災害時に利用する	子どもと遊ぶ	自然と触れ合う	休息・休憩をする
		66.0%	63.8%	57.4%	57.4%	53.2%
アクセスが悪い	19	休息・休憩をする	飲食をする（食べ物を持込む）	子どもと遊ぶ	自然と触れ合う	飲食をする（その場で買う）
		73.7%	73.7%	68.4%	68.4%	68.4%
禁止事項が多い	26	ボールを使って遊ぶ	子どもと遊ぶ	飲食をする（食べ物を持込む）	自然と触れ合う	災害時に利用する
		76.9%	73.1%	65.4%	57.7%	57.7%
暑さをしのぐ場所がない	58	飲食をする（食べ物を持込む）	休息・休憩をする	災害時に利用する	子どもと遊ぶ	自然と触れ合う
		72.4%	62.1%	60.3%	56.9%	56.9%
その他	10	自然と触れ合う	飲食をする（食べ物を持込む）	子どもと遊ぶ	飲食をする（その場で買う）	人と話す
		60.0%	60.0%	50.0%	50.0%	50.0%

④ 調査結果の集計【小・中学生】 | 回答者の属性

1-1. あなたの学年を教えてください。

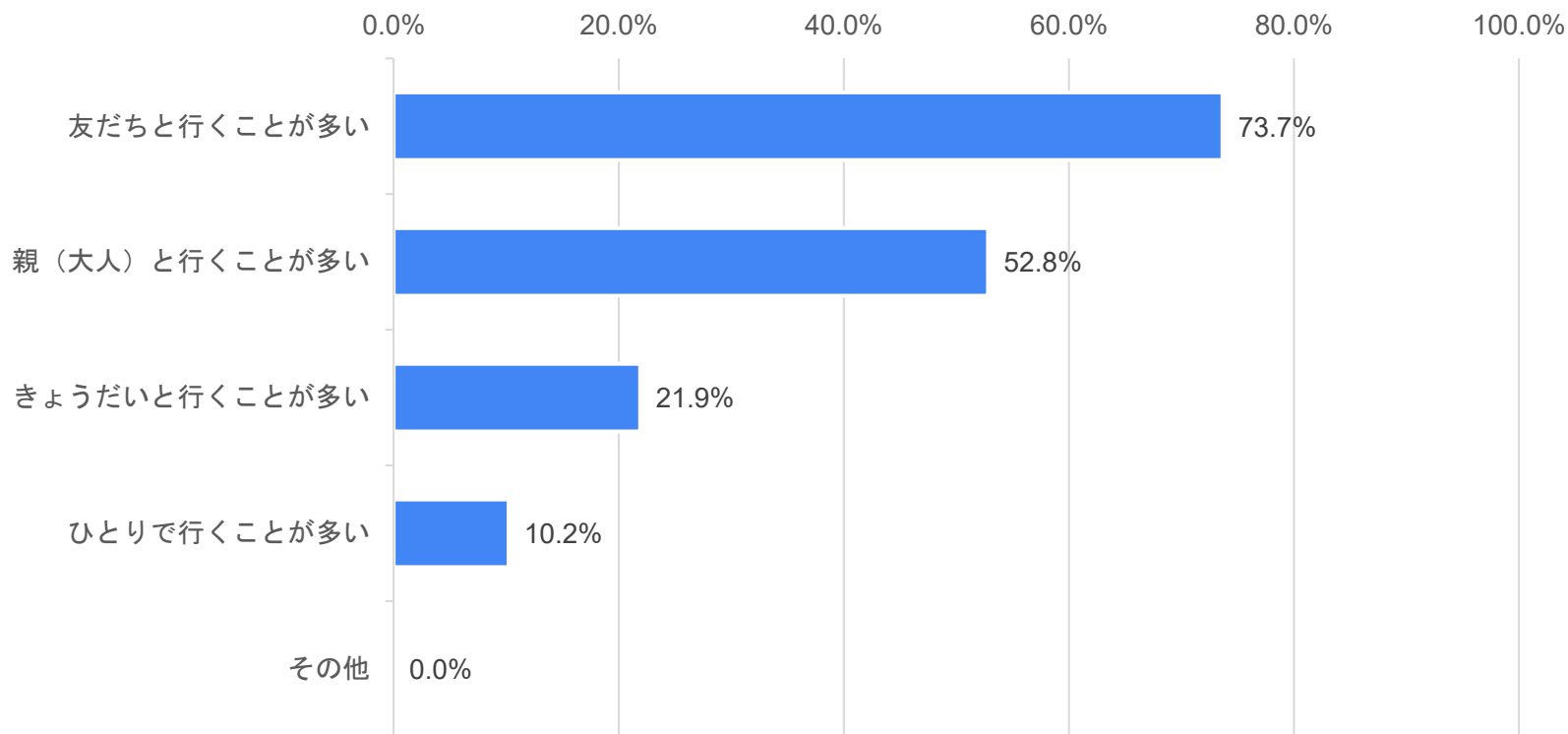


1-2. 通っている学校を教えてください。

府中第一小学校	37	5.0%
府中第二小学校	56	7.5%
府中第三小学校	28	3.8%
府中第四小学校	18	2.4%
府中第五小学校	26	3.5%
府中第六小学校	52	7.0%
府中第七小学校	14	1.9%
府中第八小学校	48	6.5%
府中第九小学校	19	2.6%
府中第十小学校	33	4.4%
武蔵台小学校	7	0.9%
住吉小学校	14	1.9%
新町小学校	19	2.6%
本宿小学校	17	2.3%
白糸台小学校	10	1.3%
矢崎小学校	13	1.7%
若松小学校	47	6.3%
小柳小学校	18	2.4%
南白糸台小学校	23	3.1%
四谷小学校	27	3.6%
南町小学校	15	2.0%
日新小学校	13	1.7%
府中第一中学校	26	3.5%
府中第二中学校	18	2.4%
府中第三中学校	12	1.6%
府中第四中学校	15	2.0%
府中第五中学校	24	3.2%
府中第六中学校	16	2.2%
府中第七中学校	13	1.7%
府中第八中学校	13	1.7%
府中第九中学校	6	0.8%
府中第十中学校	5	0.7%
浅間中学校	38	5.1%
これ以外の小中学校	4	0.5%

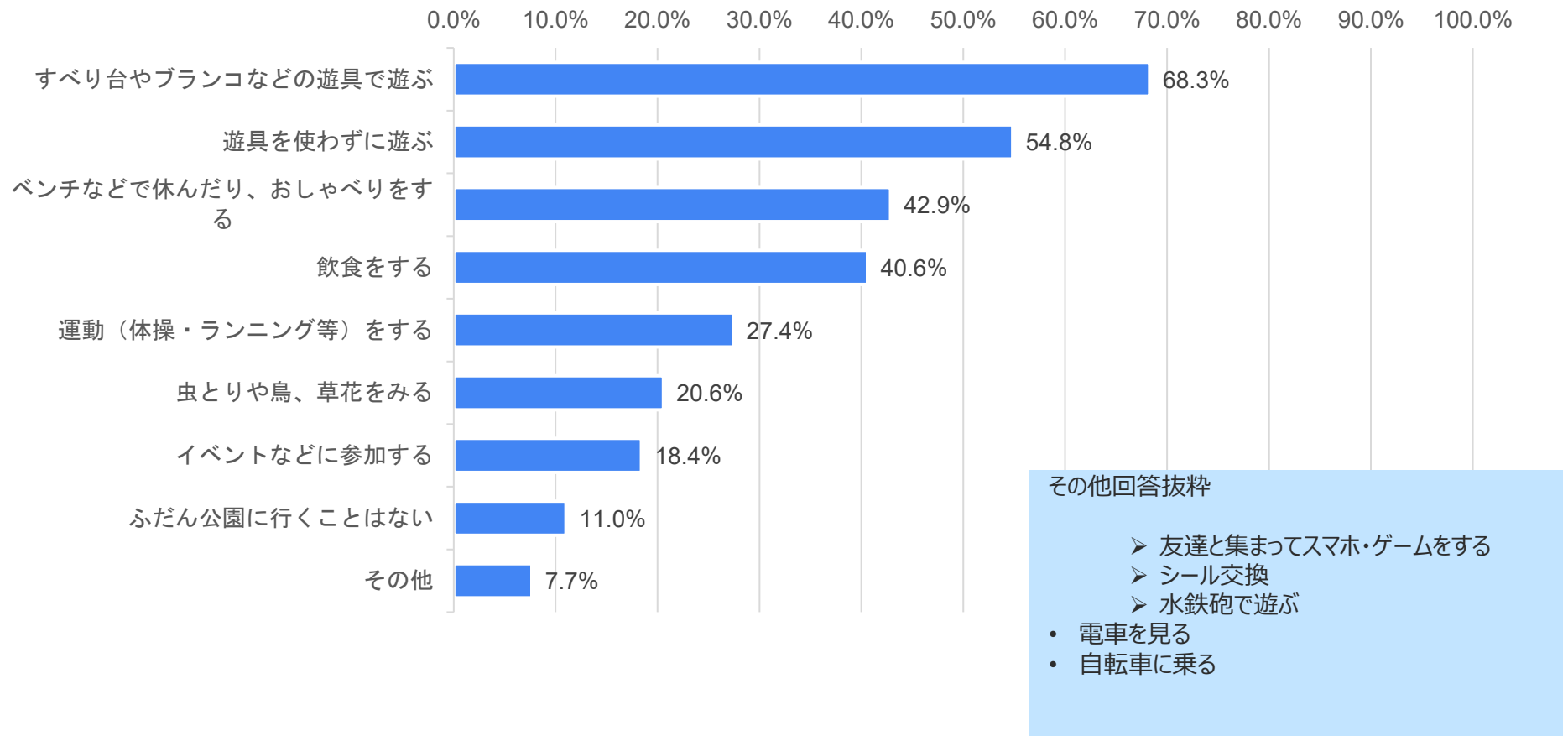
④ 調査結果の集計【小・中学生】 | Q2-1.公園に誰と行くか

- 「友達と行く」73.7%が最多、次いで「親（大人）と行く」52.8%、「きょうだいと行く」21.9%です。
- 保護者調査では親子利用が85.4%と回答されており、子ども自身の認識では友達同士の利用が中心となっている点に差がみられます。



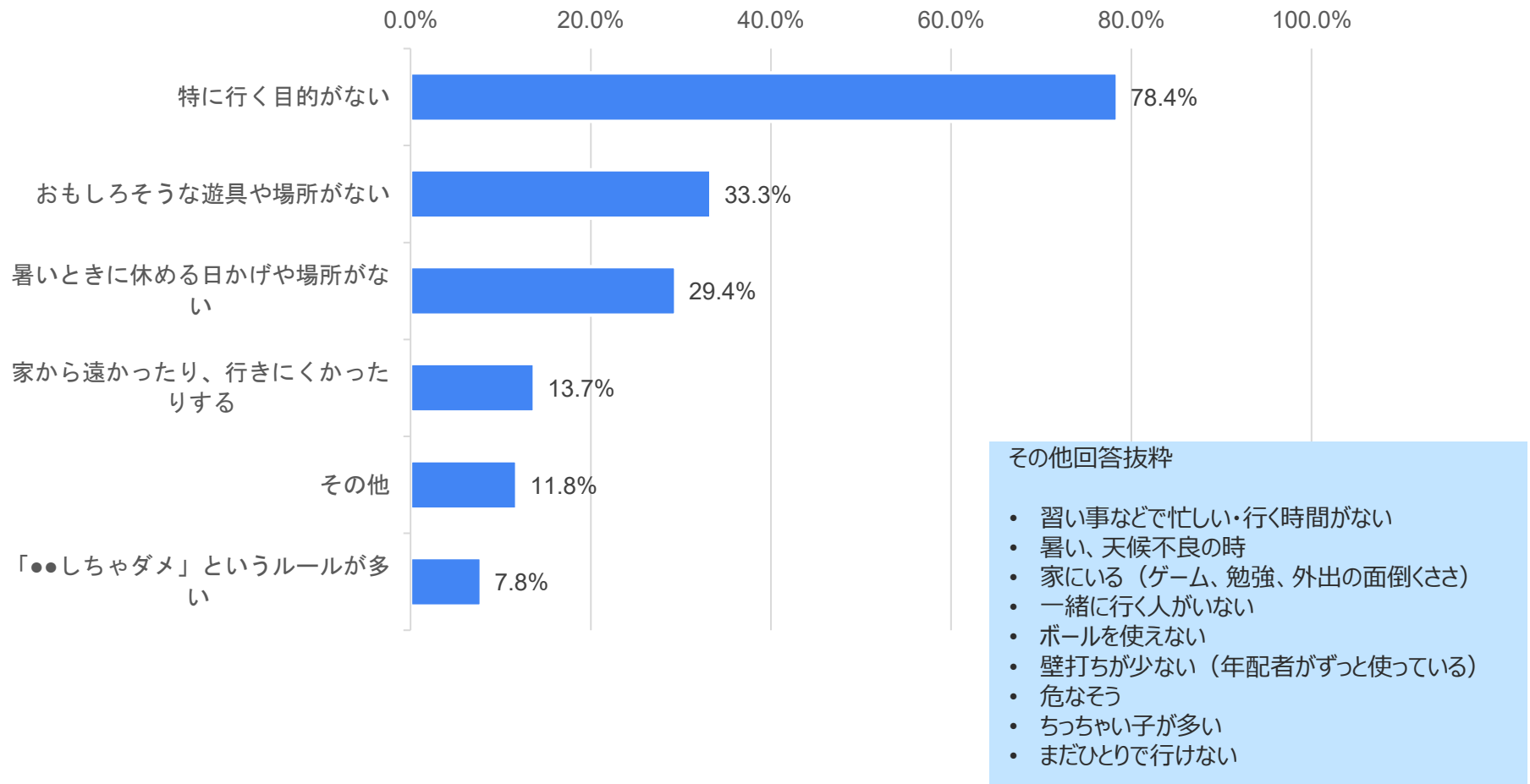
④ 調査結果の集計【小・中学生】 | Q2-2. 普段公園をどのように利用するか

- 「すべり台やブランコなどの遊具で遊ぶ」68.3%が最多、次いで、「遊具を使わずに遊ぶ」54.8%、「ベンチなどで休んだり、おしゃべりをする」42.9%となっています。
- 遊具の有無にかかわらず自由に遊べる広場や、たまり場としてのベンチ空間の需要が高いことがうかがえます。



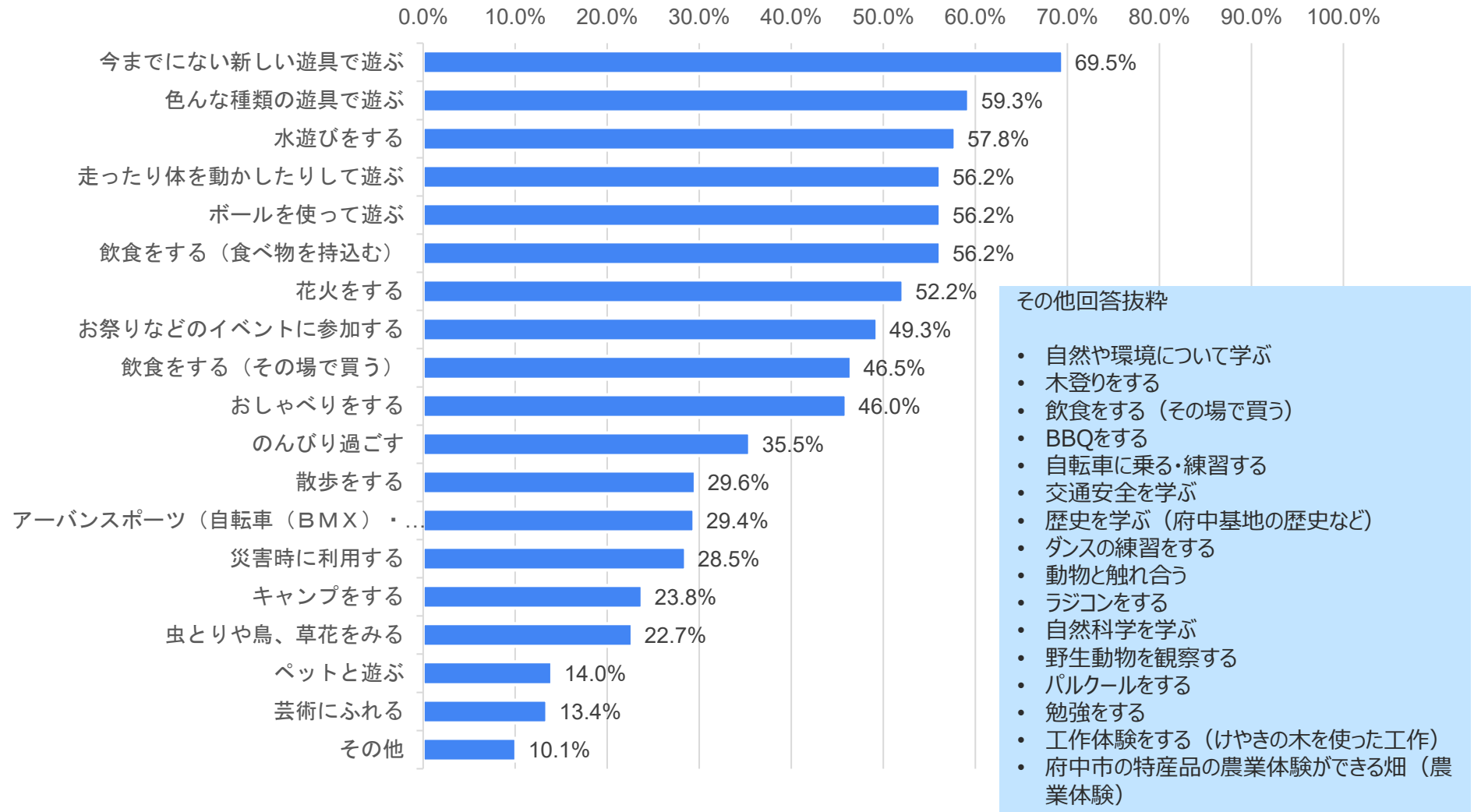
④ 調査結果の集計【小・中学生】 | Q2-3.公園を利用しない理由

- 「特に行く目的がない」78.4%が突出して高く、次いで「面白そうな遊具や場所がない」33.3%、「暑いときに休める日陰や場所がない」29.4%となっています。



④ 調査結果の集計【小・中学生】 | Q3-1.新公園でどのようなことをしたいか

- 「今までにない新しい遊具で遊ぶ」69.5%が最多で、次いで、「色々な種類の遊具で遊ぶ」59.3%、「水遊びをする」57.8%となっています。



④ 調査結果の集計【小・中学生】 | 回答者の学年×新公園でやりたいこと

- 小学生は全学年で「今までにない新しい遊具で遊ぶ」が最多（74.7～79.2％）で、「水遊び」や「色々な種類の遊具で遊ぶ」も上位となっています。一方、中学生では「おしゃべりをする」「飲食をする」「花火をする」が上位となり、学年が上がるにつれて遊具中心から友達と過ごす場へニーズが変化します。

n 値 = 744

		総計	1位	2位	3位	4位	5位
小学校 1・2 年生	n	159	今までにない新しい遊具で遊ぶ	水遊びをする	色々な種類の遊具で遊ぶ	走ったり体を動かしたりして遊ぶ	ボールを使って遊ぶ
	%	21.4%	79.2%	72.3%	71.7%	63.5%	61.0%
小学校 3・4 年生	n	185	今までにない新しい遊具で遊ぶ	色々な種類の遊具で遊ぶ	水遊びをする	走ったり体を動かしたりして遊ぶ	飲食をする（食べ物を持込む）
	%	24.9%	78.9%	67.6%	63.2%	60.0%	58.9%
小学校 5・6 年生	n	190	今までにない新しい遊具で遊ぶ	水遊びをする	色々な種類の遊具で遊ぶ	ボールを使って遊ぶ	走ったり体を動かしたりして遊ぶ
	%	25.5%	74.7%	63.2%	58.9%	58.4%	55.8%
中学校 1 年生	n	91	おしゃべりをする	飲食をする（食べ物を持込む）	飲食をする（その場で買う）	走ったり体を動かしたりして遊ぶ	今までにない新しい遊具で遊ぶ
	%	12.2%	62.6%	59.3%	59.3%	57.1%	57.1%
中学校 2 年生	n	78	ボールを使って遊ぶ	飲食をする（食べ物を持込む）	飲食をする（その場で買う）	おしゃべりをする	花火をする
	%	10.5%	50.0%	47.4%	47.4%	47.4%	46.2%
中学校 3 年生	n	41	花火をする	おしゃべりをする	お祭りなどのイベントに参加する	今までにない新しい遊具で遊ぶ	のんびり過ごす
	%	5.5%	58.5%	53.7%	53.7%	43.9%	43.9%

④ 調査結果の集計【小・中学生】 | 普段公園を利用しない理由×新公園でやりたいこと

- 普段公園を利用しない層でも、「今までにない新しい遊具で遊ぶ」「のんびり過ごす」が総じて上位となっています。「特に行く目的がない」層では「のんびり過ごす」57.5%が最多で気軽に過ごせる居場所へのニーズが、「面白そうな遊具や場所がない」層では「今までにない新しい遊具で遊ぶ」70.6%が突出しており、遊具の魅力向上が利用のきっかけとなることがうかがえます。

	総計	1位	2位	3位	4位	5位
特に行く目的がない	40	のんびり過ごす	おしゃべりをする	花火をする	今までにない新しい遊具で遊ぶ	お祭りなどのイベントに参加する
		57.5%	50.0%	37.5%	35.0%	30.0%
おもしろそうな遊具や場所がない	17	今までにない新しい遊具で遊ぶ	のんびり過ごす	花火をする	飲食をする（食べ物を持込む）	アーバンスポーツ（自転車（BMX）・スケートボード・バスケットボール等）をする
		70.6%	52.9%	52.9%	47.1%	41.2%
家から遠かったり、行きにくかったりする	7	今までにない新しい遊具で遊ぶ	アーバンスポーツ（自転車（BMX）・スケートボード・バスケットボール等）をする	のんびり過ごす	花火をする	おしゃべりをする
		57.1%	57.1%	57.1%	57.1%	57.1%
「●●しちゃダメ」というルールが多い	4	花火をする	今までにない新しい遊具で遊ぶ	アーバンスポーツ（自転車（BMX）・スケートボード・バスケットボール等）をする	のんびり過ごす	飲食をする（食べ物を持込む）
		100.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
暑いときに休める日かげや場所がない	15	花火をする	今までにない新しい遊具で遊ぶ	のんびり過ごす	アーバンスポーツ（自転車（BMX）・スケートボード・バスケットボール等）をする	飲食をする（食べ物を持込む）
		60.0%	53.3%	53.3%	40.0%	40.0%
その他	6	今までにない新しい遊具で遊ぶ	のんびり過ごす	花火をする	飲食をする（その場で買う）	水遊びをする
		66.7%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%